

潟上路

市勢要覧

ふるさとを想い、そして未来へ。

ふたあらの丘 市内随一の夕日の景勝地

飯田川地区の丘陵地南側にあるこの丘は、田植えの時期には夕焼けが水田に鏡のように映し出され、美しく郷愁を感じさせる景色が広がります。風光明媚な場所として知られ、かつては「秋田30景」に選ばれたこともある場所です。



潟上市 市勢要覧

発行年月／平成28年5月
発行／秋田県潟上市
企画編集／潟上市 総務部 企画政策課

ふるさと、潟上に生きる。

潟上市市民憲章

水清く

緑の風光る大地

先人の熱い魂と

深い知恵を受け継ぎ

心を開き共に築こう

夢を広げる

わがふるさと潟上

制定月日

平成十八年三月十五日

Index

ふるさと、潟上に生きる。……	1
市民憲章 市長あいさつ	
潟上新時代 ……………	2
潟上市プロフィール 潟上市役所 新庁舎完成 潟上市十年のあゆみ	
かたがみの四季 ……………	8
彩りの春／祭りの夏／実りの秋／漁りの冬	
文化と伝承を憶う ……………	16
東湖八坂神社統人行事 聖農 石川理紀之助 郷土の偉人 等	
潟上みどころSpot ……………	24
小玉醸造・ブルーホール 熟練の技逸品 天王グリーンランド・ブルーメッセあきた等	
潟上市MAP ……………	28
イベントスケジュール	
第2次潟上市総合計画 …	30
行政・議会 ……………	40
参考資料 ……………	41

ふるさと、潟上に生きる――。

東に出羽丘陵、西に日本海、北には八郎湖。

そしてそこに広がる広大な田園地帯。

恵み多き自然を背景に、

伝統と歴史を重んじ、

かつ都市的環境を併せ持つ潟上市。

その潟上に生きる人々の暮らしは、

郷を想う豊かなものである。

春、夏、秋、冬一。潟上市には、日本の四季を五感で感じられる豊かな自然環境があります。このなかで営まれる私たちの暮らしは、自然の恵みがあふれ、原風景が人々の心をいやし、次世代を担う心豊かな子どもたちが育まれています。

本市の誕生からちょうど10年となる平成27年3月には市民サービスと防災の拠点となる新庁舎が完成し、平成28年度を初年度とする「第2次総合計画」もスタートするなど、潟上市は新たな時代へと踏み出しました。これまでの10年間を礎に、豊かな自然を保ちながら、市民の皆様が健康で安心して暮らすことができるまちづくりを目指し、第2次総合計画では『みんなて創る しあわせ実感都市 潟上～文化の風薫る 笑顔あふれるまち～』を市の将来像に掲げております。

山脈から続く広大な田園、八郎湖と日本海、この豊かな自然のなかで伝承されてきたもの、培ったものを見つめ直し、また、地域資源を融合させて新たなものを作り出していくことで、潟上市の魅力はさらに膨らみます。この市勢要覧を通じて本市の現在に触れ、これからのまちづくりを知っていただけたらと思います。そして、この潟上の大地に、市民の“笑顔”を咲かせていきましょう。

平成28年4月 潟上市長 石川光男



市のシンボル

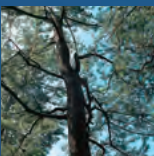
市の花●バラ(薔薇)

バラの美しさに魅せられ、栽培方法が難しいとされる寒冷地の悪条件を克服して「天皇賞」を受賞した一青年の情熱が花き栽培のきっかけとなり、今では東北屈指の花の産地となった昭和地区。地場産業の振興は、若者に夢と希望を与え、心豊かで潤いのある湯上市をつくりあげていきます。バラは人々の心の拠りどころとなる花であり、愛、美、調和などを意味することなどから、最もふさわしい市の花として「バラ(薔薇)」が選定されました。



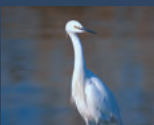
市の木●クロマツ(黒松)

マツは、常緑樹で古くから祭り木の略ともいわれ、門松など祝い事に用いられています。市内に数多く生育し、名木も多く、庭木など市民に親しまれています。特に日本海の潮風から農作物や田畑を守る「夕日の松原」は先人の遺産として後世に残すべきものです。クロマツは、大地にどっしりと根を張り、雄々しく、逞しく、自然環境を大切にするなどから、伸びゆく湯上市を象徴するに最もふさわしい市の木として「クロマツ(黒松)」が選定されました。



市の鳥●シラサギ(白鷺)

鷺は、寛文4年に建立された神明社のお祭りの折りに、佐竹義隆公に召された福蔵坊が、神をなぐさめるため、神楽遊びとして先祖伝来の鷺舞いを舞って殿様を楽しませたとされる飯田川地区の鷺舞いに結びつき、古くから伝えられる伝統や文化を守る人々の心が鷺を介して息づいています。市内八郎湖沿いの田んぼや川の浅瀬に見られるコサギやダイサギの愛らしい姿から、これら白い鳥の総称である「シラサギ(白鷺)」が最もふさわしい市の鳥として選定されました。



湯上市章

市名「湯上」の「上」をモチーフに抽象化したデザインです。

赤い丸と上の緑の弧で人をイメージし、青と緑の弧は湯上の自然の象徴である八郎湖と肥沃な大地を描き、住む人との調和を表しています。全体で湯上市の将来像への願いを表現しています。

位置・地勢

湯上市は、秋田県のほぼ中央の沿岸部に位置し、東は井川町と、南は秋田市と、西は男鹿市と、北は八郎湖を挟んで大潟村と接しています。

東部は南北に縦走する国道7号の周辺に小高い丘陵(女川層)が多数連なり、出羽丘陵に続いています。中央部及び北部は、秋田平野の北辺部として八郎湖に向かって広大な田園地帯が広がり、肥沃な穀倉地帯となっています。西部は県内有数の3本の砂丘群が連なっているほか、日本海に面した沿岸部は秋田市から続く海岸砂丘となっており、秋田県の保健保安林に指定されています。砂丘群の間は集落や畑地、樹園地として活用されています。

湯上市は、秋田自動車道、日本海沿岸東北自動車道等高速交通体系が整備され、また秋田空港から車で30分程度の距離にあるなど、首都圏へのアクセス性も高まっています。また、県都秋田市に隣接したベッドタウンという都市的な特性と広大な田園風景に代表される豊かな自然環境を併せ持ち、こうした恵まれた地勢を活かした、魅力あるまちづくりが期待される地域です。

市名の由来

市名「湯上」は、「※日本三代実録」の記録に由来します。この史書の元慶2年(八七八)7月10日癸卯の条に、

秋田城下の二村として「方上」が録されています。また「和名類聚抄」(※倭名類聚鈔)にも「秋田郡」を構成する一地域として「方上」が記載されています。

「方上」の「方」は「湯」を意味し、八郎湖に面し、しかも上に位置する天王町・昭和町・飯田川町の3町を含む一帯と比定されます。こうした歴史を踏まえ、「上」の文字にさらなる発展・向上の願いをこめ、新市の名称を「湯上」としました。

※日本三大実録…日本書紀を初めとする勅撰史書六国史の最後の書。五十巻からなり、延喜元年(九〇一年、平安時代前期)に撰上
※和名類聚抄(倭名類聚鈔)…我が国最初の分類体の漢和辞書。源順編。承平4年(九三四年、平安時代中期)頃成立。

鴻上市役所 新庁舎完成



防災・災害対策拠点施設

鴻上市役所新庁舎は津波被害を想定し、災害対策本部室や電算機器スペース、機械室、文書保管室などは3階に配置。また、屋上には電気室(受変電設備および発電機設備)等を設置し、避難スペースとしても活用できます。

災害時を想定し、1階は一時避難場所等に活用できるスペース、2階は事務スペース、3階は災害対策本部スペース、車庫棟は物資受入スペースとしています。外構について、北側を避難者スペース、南側を対策用スペースと、オープンな平面としており、東側(車庫棟裏)には災害用トイレとして活用できるくみ取り式の便槽を埋設しています。

また、最新の設備を利用して、高所救助訓練や支援物資配送訓練などの総合的な防災訓練も実施されました。



【新庁舎の概要】

[敷地面積]	22,786.73㎡
[延床面積]	9,219.03㎡
[建設工事費]	39億1,335万円(庁舎棟)
[構造]	鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC造)
[工事期間]	平成25年9月11日～平成27年3月13日



新庁舎完成修祓式

(平成27年4月29日、新庁舎1階ホール)

新庁舎の完成を祝う神事のあと、名誉市民の中村征夫氏から寄贈された写真パネル「ザトウクジラの母子」の除幕式が行われました。



市制施行10周年記念式典 新庁舎建設工事竣工式

(平成27年4月29日、天王総合体育館)

市関係団体代表者や市功労者など約450人が参列。新庁舎建設工事関係者と、市の発展に協力してきた団体へ感謝状が贈呈されました。



新たな住民サービスの拠点として建設が進められてきた市役所新庁舎が、平成27年3月に完成。5月7日から業務を開始しました。

庁舎の設計は、市民からの意見を十分に反映されたものとなるよう配慮されました。

1階には、市民の利用する機会が多い福祉、税、会計などの窓口部門を集約。玄関は4カ所設置し、多方面から庁舎への出入りが可能に。正面玄関から障がい者用駐車場までは地中熱融雪装置を設置し、積雪時の椅子の移動にも対応しています。

証明書発行や会計窓口には受付番号を電光表示する発券機システムを導入し、窓口業務が一段とスムーズに。さらに、庁舎を案内するコンシェルジュとなる職員を配置しています。

広く日当たりのよい市民ホールは憩いや交流の場となっているほか、選挙の期日前投票所など一時的な窓口拡張スペースとしても活用されています。

また、市民ホールには、鴻上市出身の水写真家である名誉市民の中村征夫氏から寄贈された、縦3メートル、横8・4メートルの写真「ザトウクジラの母子(ははこ)」が展示されており、母クジラと子クジラが寄り添いながら優雅に泳ぐ姿は市民の心に安らぎを与えています。

新庁舎は新たな防災の拠点としての役割も担います。震度6強に耐える耐震性、5日間の維持が可能な非常用自家発電設備、非常用トイレ用の便槽の埋設など、あらゆる災害に対応する能力を備えたものとなっています。



来庁者に迅速に対応する庁舎コンシェルジュ



1階に集約された窓口業務と受付番号の電光掲示



十年のあゆみ

平成27年3月、「湯上市」は誕生から10周年を迎えました。

平成17年3月に旧市町村時代の天王・昭和・飯田川の3町が合併。各地域の長い時間をかけて作り上げられてきた特色が融合・調和し合い、新しい「湯上市」としての特色が作られ続けています。

「湯上市」がこの10年間で経験したさまざまな出来事を振り返ることで、今後も発展を続けるためのヒントを模索し、より「層の住みよいまちづくり」に活かします。

平成17年度

- 3月22日 旧天王町・昭和町・飯田川町が合併し、新市「湯上市」が誕生。
- 4月17日 湯上市市長選挙で初代市長に石川光男氏（旧天王町長）が当選。
- 23日 湯上市体育協会設立。
- 30日 湯上市老人クラブ連合会が発足。
- 7月8日 湯上市観光協会設立。
- 20日 農業委員統一選挙後の湯上市農業委員会初総会を開催。会長に鈴木菊男氏（天王）。
- 9月30日 湯上市連合婦人会設立。
- 11月5日 湯上市誕生記念「NHKラジオ番組」を開催。
- 3月21日 「湯上市合併記念式典」を挙げる。「市民憲章」「市民歌昇る湯上」「市の花・木・鳥」を発表。
- 28日 「湯上市男女共同参画推進計画」を策定。



平成20年度

- 4月1日 昭和飯田川商工会と湯上市天王商工会が合併し、「湯上市商工会」が誕生。
- 5月12日 「湯上市子育てネットワーク協議会」（愛称「かたがみっ子元気ネット」）が設立。
- 7月9日 湯上市の地域再生計画が内閣総理大臣の認定を受ける。
- 10月23日 湯上市・秋田県立大学連携協力協定調印式。
- 11月3日 湯上市表彰式を挙げる。昭和出身の水写真家・中村征夫氏が名誉市民第1号に。
- 12月2日 小玉家住宅（飯田川飯塚）が国指定重要文化財に指定される。



平成21年度

- 4月12日 湯上市市長選挙で石川光男氏が再選を果たす。
- 9月27日 湯上市市制施行5周年記念・NHK秋田放送局テレビ放送開始50周年記念「NHKのと自慢」の公開生放送。
- 11月7日 湯上市名誉市民の中村征夫氏の写真ギャラリー「ブルーホール」がオープン。
- 18日 昭和工業団地に国内最大規模のバイオエタノール製造実証プラントが完成。



平成24年度

- 4月1日 大久保小学校と豊川小学校の歴史を引き継ぎ、大豊小学校として新たな歴史の一步を踏み出す。
- 出戸幼稚園が、幼保一体型施設「出戸こども園」としてスタート。
- 6月12日 湯上市自治基本条例が6月定例議会で議決。
- 10月31日 第1回湯上市新庁舎建設基本設計市民委員会を開催。
- 11月3日 湯上市表彰式典が盛大に挙行され、市功労者61人、感謝状受賞者17人を表彰。
- 1月1日 湯上市自治基本条例施行。市民参画と協働によるまちづくり開始。
- 3月27日 天王（新迫分）浄水場等整備事業完成。追分地区へ通水開始。



平成25年度

- 4月7日 湯上市市長選挙で石川光男氏3選果たす。
- 5月12日 長沼球場に県内初のLEDフルカラー電光掲示板を設置。市野球記念大会開催。
- 7月13日 海の祭典「海フェスタ」。名誉市民・中村征夫氏のトークショーなど開催。
- 9月19日 県内初の大規模太陽光発電所・発電開始。市内に2カ所誕生する。
- 9月15日 八郎湯ハイッ営業停止。昭和49年から親しまれてきた施設の閉鎖。
- 10月16日 湯上市多目的交流施設（豊川コミュニティセンター）起工式。



平成18年度

- 6月23日 市議会定例会で「湯上市総合発展計画基本構想」が決まる。
- 11月1日 第129回秋田県種苗交換会が湯上市で開かれる。7日間で約87万5千人。
- 11月5日 「湯上市男女共同参画宣言都市記念式典・記念フォーラム」を開催。内閣府男女共同参画局長の板東久美子氏が基調講演。



平成19年度

- 4月1日 防災行政無線施設が整備され、昭和・飯田川地区への放送開始。
- 9月29日 「秋田わか杉国体」開幕。
- 10月30日 「秋田わか杉国体」相撲競技（少年男子・成年男子）が天王総合体育館を会場に開催される。（10月3日まで）
- 10月5日 「秋田わか杉国体」レスリング競技（少年男子）が昭和体育館を会場に開催される。（10月8日まで）
- 9日 「秋田わか杉国体」天皇杯（男女総合成績1位）と皇后杯（女子総合1位）を獲得し閉幕。
- 11月2日 湯上市出身の写真家・中村征夫氏が平成19年秋田県文化功労賞を受賞。
- 30日 豊川油田が経済産業省「近代化産業遺産」に認定される。
- 2月6日 自治会や老人クラブ、婦人会、PTA、病院など各団体の代表者ら、市民が中心となって「湯上市自殺予防推進連絡会」が発足。



平成23年度

- 4月1日 追分保育園と追分乳児保育園を統合した新「追分保育園」が開園。
- 17日 鞍掛沼公園多目的広場を改修し、日本サッカー協会の人工芝公認を受けた県内唯一の認定グラウンド「フットボールセンター」がオープン。
- 30日 天王グリーンランド内に「食堂館くらら」がオープン。
- 8月4日 「湯上市自治基本条例100人委員会」を開催。湯上市男女共同参画宣言都市5周年を記念し、「ハートフルな三行詩」コンテスト表彰式と記念講演を開催。
- 2月17日 湯上市と秋田大学が、幅広い分野で相互に協力し地域社会の発展を目指し連携協定を締結。
- 3月31日 豊川小学校が135年の歴史に幕を下ろす。



平成26年度

- 10月31日 クリーンセンター基幹改良整備工事完成。処理能力アップと地球環境に優しい施設に。
- 2月17日 石川市長が秋の「園遊会」に出席。
- 湯上市と市内医療機関との災害時における応急医療救護活動に関する協定締結式を実施。

- 4月14日 湯上市多目的交流施設（豊川コミュニティセンター）竣工式。
- 5月25日 第29回国民文化祭・あきた2014の湯上市主催事業「草木谷撮影会」開催。
- 8月3日 市制施行10周年記念「第32回飯田川鷺舞まつり」を開催。
- 16日 市制施行10周年記念「第48回八郎まつり」を開催。
- 30・31日 「天王グリーンランドまつり2014」を開催。市制施行10周年を記念して約5千発の花火を打ち上げ。
- 10月4日 「第29回国民文化祭・あきた2014」開催（11月3日まで）。
- 12日 国民文化祭・湯上市主催事業「自然と暮らす・日本の風景写真コンテスト」に表彰式及び選評トークショーを開催。
- 12月4日 石川翁を縁に、都市山田地区と羽城地区との学校間・地域間交流が始まる。



A scenic view of a park with cherry blossoms in the foreground and a town in the background. The image is framed by a large, stylized Japanese character '春' (Spring) in the upper left corner. The park features a green lawn, a paved path, and several cherry blossom trees in full bloom. In the background, a town with various buildings and a tall tower is visible under a clear sky.

飯田川地区の高台にある梅林園。さまざまな種類の梅の木が見られ、春は赤白、黄色の花が咲きます。

丘陵地南側の「ふたあらの丘」では、田園風景とその向こうの八郎潟残存湖、男鹿三山を一望できます。



市内・県内はもとより東北でも有数の花の名所。一年を通してさまざまな花を展示・販売しています。

春の芝生花壇広場の光景は圧巻。約3千平方メートルの芝生花壇広場にチューリップが咲き誇り、赤や黄色といった色の競演が目前に広がります。



また、春には花苗の大販売会、植木市、ガーデンフェアも開かれます。色とりどりの花が所狭しと並び、新鮮な花や花苗を求める人たちで賑わいます。



昭和地区の大久保と豊川の境界に位置し、春は桜の名所になります。散策を楽しむほか、陸上競技場、野球場、テニスコートなどの屋外スポーツ施設も充実。市民が気軽に利用できる、健康と癒しのスポットです。

園内に広がる鞍掛沼の周囲は桜並木の散策路になっており、春はまさに「桜の回廊」となります。ピンクに色づいた中でロマンチックな気分を味わいながら、散策やサイクリングを楽しむことができます。



かたがみの四季

やわらかい春の日差しがふりそそぎ、
 渇上の大地はモノトーンの景色から
 優しい彩りに包まれていく。
 木々はゆつくりと光を手に入れて芽吹く。
 花々は色鮮やかに春の訪れを喜び咲く。
 そして、はかなくも強さを感じる桜が、
 市内いたるところで人々の目を楽しませ、
 新たな始まりを祝福する。



祭りの夏。

かたがみの四季



「八郎まつり」

✦ 毎年8月16日

かつて日本で二番目に大きな湖であった八郎湖は、国家による世紀の干拓事業により、その姿を大きく変えました。湖と生活を共にした人々がかつての八郎湖に思いを致し、昭和42年、秋田三湖（千和田湖・田沢湖・八郎湖）

に伝わる「八郎太郎物語」を蘇らせた「八郎まつり」が誕生しました。

男若衆が長さ64メートルの八郎竜を、女若衆が35メートルの辰子竜を担ぎ、時折炎を吐くような姿を見せながら町内を練り歩きます。

クライマックスは、メイン会場の昭和出張所前で多くの観衆が出迎える中、「双竜出合いのセレモニー」が行われます。



「鷺舞まつり」

✦ 毎年8月第一日曜日

「鷺舞」には田の豊作と疫病消除の願いが込められていると言われています。寛文4年（一六六四）下虻川神社建立の際、秋田藩二代藩主・佐竹義隆公に「鷺舞」を披露したといういわれにちなみ、飯田川地区の伝統芸能として昭和59年に復活しました。

古式にのっとり下虻川神社で舞が奉納されます。鷺舞まつりでは、



飯田川出張所前の広場で園児による孫鷺、女子児童による子鷺の舞と続き、かわいらしい群舞が観客の目を惹きまします。最後は、2羽の親鷺よって往時の義隆公の御前での場面が再現され、優美な舞が披露されます。



祭りの夏。

かたがみの四季

熱い夏の太陽は、すべてのものに光をそそぎ人々は、段と活氣を得る。まばゆいばかりの陽光のもと、さまざまな祭りが市内で賑やかに行われる。そこには、伝統行事を守ろうとする人々の揺るがない思いと、自分たちの渴望を見つめ直し、さらに盛り上げようとする熱い思いがある。

天王グリーンランドまつり

✦ 毎年8月 最終土・日曜日

市では最大規模のイベント。会場はあふれんばかりの人々で賑わいます。まつりの最後を飾るのは花火ショー。ライトアップされたスカイタワーと大輪の花火が夜空に映し出される圧巻の光景に、会場の盛り上がりは最高潮に達します。





果樹
沿岸部の砂丘地帯では、梨・ぶどう・りんごなどの果樹栽培が盛んに行われています。新たな特産品として、大玉で香りが強くすっきりとした甘みの「かほり梨」が注目を集めています。市内の果樹園は観光農園・体験農園としても人気が高く、収穫期には家族連れや体験学習での利用者など、多くの人が訪れています。



野菜・花き
市内ではネギや大豆・枝豆などの野菜も積極的に生産されています。品質向上のためのさまざまな試みや、稲作の転作・複合作物としての生産に向けた動きも進んでいます。花きはビニールハウスを利用した生産が多く、一年を通じて、多種多様な草花が生産されています。秋田県花き種苗センターが立地するなど、花きの生産・消費の振興の中心地となっています。



稲作

八郎湖の湖岸に沿って広がる広大な田園は、秋田平野という肥沃な土地に恵まれた穀倉地帯の一部を成しています。市の基幹産業である農業の中でも大きな部分を占める稲作ですが、最近では従来の方法に加え、減農薬のブランドや高品質・良食味米の生産など、新しい稲作の導入も進められています。田園風景はふるさとを連想させる情景でもあります。春は陽光を映し出す瑞々しい水田、夏は風に波打つ青々と茂った稲、秋は遙か向こうまで広がる黄金色の稲穂、冬は時折地吹雪を巻き起こす一面の雪景色。そんな懐かしい光景が、潟上市には数多く残っています。



空気が澄みわたり、黄金の波と広がる夕やけ空。稲穂がこうべを垂れ、果実が大きく実ると、潟上の大地は充実した季節を迎える。そして、農作物の収穫を喜び感謝する。人々の心もほっこりと、安心感で満たされる季節。



八郎湖と日本海

豊かな水の恵みに囲まれた潟上市は、海面内水面ともに良質な漁場となっており、多種多様な魚が県内外に出荷されています。また、釣りを楽しむ人たちにとっての人気スポットにもなっています。

八郎湖はかつての干拓事業により、日本第二の面積だった湖面がう分の1にまで縮小され、漁業の形態もその変化に対応してきました。佃煮などに加工されるワカサギ、シラウオ、ハゼ類をはじめ、コイ、フナなどが漁獲されています。

日本海沿岸では、定置網・刺し網・はえ縄などの漁船漁業を中心に、タイ、ヒラメ、ブリ、ハタハタ、キス、マダラ、ガザミ、フグ、イワガキなどが漁獲されています。

秋田名物のハタハタは、旬の時期には豊富に水揚げされ、待ちに待った冬の味覚をもたらします。

漁の期間や操業時間の制限、種苗放流など、漁業に携わる人々と行政が一体となって、資源保護に配慮した取り組みも進められています。



北限の秋田ふぐ

潟上市の日本海の沖合は、日本で最北のフグの産卵場と言われています。天然トラフグをはじめ、その品質は以前から高い評価を受けていましたが、ほとんどが県外に出荷され、地元での消費は少ないものでした。

近年、地元で獲れる良質なフグを地元でも味わおうとする動きが活発になっています。市のPRにつながる新たな特産品として期待されています。



佃煮

市の特産品である佃煮は、その独特の味わいで全国的にも有名です。八郎湖で漁獲されたワカサギ、シラウオ、ハゼなどが佃煮などに加工されています。

市内での佃煮の歴史は100年以上にもなり、現在も県内の8割を占める佃煮加工業者が点在しています。十数軒の佃煮加工業者が軒を連ねます。昔からの製法を守りながら、新しい商品の開発も積極的に行われており、八郎湖の恵みの魅力を次々と生み出し続けています。



漁 の冬。

こ
れ

かたがみの四季

寒さが厳しく長い潟上の冬。その中で人々の暮らしと食を豊かにする海の恵みがここにはある。冬の荒々しい日本海から命の恩恵を受け、人々は強さとたくましさをもらい、またあたたかい春が来るのを待つ。



文化と 伝承を憶う。

時代を超えて
継承されてきた
伝統文化。
先人たちの熱い魂と
深い知恵が、
息づいています。



◆国指定重要無形民俗文化財

東湖八坂神社 統人行事

東湖八坂神社の起源は、延暦20年（802）、坂上田村麻呂が北野原東湖宮に社を建立し、スサノオノミコトを祀ったこととされています。庶民からは「お天王さん」として親しまれ、安東氏や佐竹氏といった統治者の庇護にあずかったという記録もあり、広く信仰の対象となっています。

奇祭としても知られる統人行事。現在の地での祭事は、康平5年（1062）から行われるようになったといわれ、およそ千年にわたって伝統を厳格に守りながら継承されてきました。

諸祭事は1年間にわたり、「統人」と呼ばれる人たちが中心になって執り行われます。最大の祭事は毎年7月7日の「天王祭」で、神輿の巡幸、牛乗り神事、くも舞い、神事が行われます。

昭和61年（1986）、国の重要無形民俗文化財に指定されました。

例大祭 牛乗り・くも舞い

「素戔鳴尊（スサノオノミコト）の八岐大蛇（ヤマタノオロチ）退治」を再現したものとして、多くの人が見守る中、神々しい世界が繰り広げられます。境内に響く山太鼓の音とともに、神輿の巡幸が始まり、「スサノオノミコト」としての神格を纏った神人が御神牛に乗り、町内を練り歩きます。船越水道（天王岸）に達すると、山太鼓が一斉に打ち鳴らされ、真紅の衣を身に着けた神人「ヤマタノオロチ」が、湖面に浮かぶ船上で宙返りなどの所作を舞う「くも舞い」を演じます。



尚庵

晩年を過ごし、自らが農民であることを忘れず質素な生活を送りました。

◆貧農救済を生涯の使命とした、郷土の先覚者

聖農 石川理紀之助

[1845~1915]

石川理紀之助は明治期の農業指導者。聖農」と敬称され全国に知られています。生涯を農業指導・農村救済にささげ、今日の秋田県の農業の基礎を築きました。

秋田郡小泉村（秋田市）に生まれ、学問好きな祖父の影響で幼少時から勉強に励み、生涯で1万冊の本を読破したといわれています。

21歳、山田村（潟上市昭和）の地主・石川家の婿養子になり、逼迫していた石川家の家計を立て直します。同時に村全体の復興も図り、「農業耕作会」を組織しました。

その後、秋田県庁で農政に従事。34歳のとき、農民らが技術情報や種苗を交換し合う「種子交換会」を開催。130年以上たった現在も続く「秋田県種苗交換会」の起源となります。また、「歴観農話連」を結成し、農業の賢人である「老農」を招き勉強会を開催しました。

39歳で県庁を退職。再び山田村に戻り「山田経済会」を設立します。村の借金を5年で返済した実績は政府にまで知れわたり、農商務省で成果を報告しました。

山田経済会に対する一部からの批判を受け、草木谷の山居で自給自足の生活を送ります。地主への借金を3年で返済するなどの成果を上げ、自身の誠意と方法論の正しさを世に示しました。

51歳、各地の土地を調査し適地適産を進める「適産調」に取りかかります。7年にわたって秋田・福島・2県49町村を調査し、731冊もの調査書をまとめました。

晩年も農村救済の活動をし続け、58歳で同志7名と宮崎県で、68歳では仙北郡強首村九井田（大仙市）で事業にあたります。老体ながらも農村復興に力を注ぐ姿は、農民たちの心を大いに動かししました。県内での事業の途中、71歳で永眠しました。



潟上市郷土文化保存伝習館 （石川理紀之助翁遺跡地）

適産調や和歌・随筆など、理紀之助の膨大な量の遺著や収集物のほか、郷土の歴史・民俗・産業に関するさまざまな資料を保存・展示しています。

遺跡地では、尚庵、書庫、備荒倉などの建物を見学することができます。また、約1・2キロ東の「草木谷」には、自給自足生活を送った山居（復元）があります。

寝て居て人を起こすこと勿れ（理紀之助 筆）

自ら早起きをし、率先して働くという意。
理紀之助が生涯の信条とした言葉。

事勿れ
おこすこと
自ら早起き



備荒倉

石川家の倉で、玄米、麦、稗などを蒸して備蓄し、凶作や飢饉に備えました。



三井文庫

生涯で読んだ1万冊の書籍、和歌や適産調の遺稿、各地に救済事業に赴く際の旅行用具などが保存されていました。



草木谷の山居

10年間の貧農生活を送った山居。明治31年に焼失しますが、弟子たちが駆けつけて5時間で再建し、五時庵ともいわれています。



板木

午前3時に打ち鳴らして農民を起床させ、仕事に取りかからせました。打つときはその音が村外の人や未来の人にも届くように気持ちを込めたといわれています。

地域住民による 草木谷での 環境保全活動



理紀之助が貧農生活を送った草木谷は、近年は人の手が入らず荒廃した土地となっていました。草木谷を復活させ、里山の保全と八郎湖の水源地としての環境再生に取り組むプロジェクトが、地域住民によって進められています。

主な活動は、地元の大豊小学校の児童が田植えや稲刈りなどを体験する「田んぼの学校」や、地域住民の共同作業による「酒米栽培」。いずれも手作業による農法、無農薬・無化学肥料で行います。また、ホテル観賞会などの自然観察も行われています。

生き物が住みやすい環境づくりと下流の八郎湖の水質保全を通じ、環境教育や社会貢献につながる重要な取り組みとなっています。





小玉家住宅

国指定重要有形文化財

小玉醸造株式会社の創業家である小玉家は、当時の飯田川地区において、羽後飯塚駅や銀行の誘致、農地の開墾などを行い、家業だけではなく地域の近代化を進めるうえでも大きな役割を果たしました。

小玉家住宅は主屋、文庫蔵、米蔵、車庫からなり、いずれも大正12年（一九二三）に建造されました。

主屋は、良質な秋田杉などを材料に卓越した建築技術によって建てられました。接客に重きを置き、座敷から美しい庭園を眺められる空間構成になっています。文庫蔵、米蔵、車庫も、当時の先進的な工法と伝統的な意匠が組み合わされた、非常に価値の高い建造物です。

優れた近代建築と、地域の発展に寄与した当時の小玉家の様子を知らずため、貴重な手がかりであり、平成20年に国指定重要文化財に指定されました。

（般公開は行っておりません）

神明社観音堂

国指定重要有形文化財

はじめは八郎湖の東側湖岸にあり、創建は室町時代末期とされます。元禄2年（六八九）に現在地（湯上市飯田川）に移り、享保19年（七三四）改築の棟札が残っています。

社の全体がケヤキからできており、精巧に組み込まれた棟梁や絢爛たる彫刻が今に伝えられています。

堂内には室町時代の作とされる厨子・シカの足を抱えた白狐のミイラが現在も保存されています。

近世初頭から中期における秋田県建築を探究うえて大変貴重であり、昭和27年に国指定重要有形文化財（建造物）に指定されました。



村の救済と自治に尽くした博学者

菅原源八

[1794~1879]

新関（湯上市昭和）に生まれ、家業の農業を営みながら長きにわたり村の要職を務め、医者としても村民の救済に尽力しました。

21歳から50歳まで新関村長名役（村の自治の中心的役割）、63歳まで大久保村肝煎役（現在の村長）など、若い時から村の指導的立場に立ち



ます。

天保4年（八三三）の大飢饉では私財を投じて難民救済にあたり、二八六二年の疫病大流行でも多くの患者の治療に尽力しました。

著作した随筆は48冊にのぼり、華道・茶道、漢詩・和歌・俳句・川柳にも精通します。現在の大豊小学校の起源となる寺子屋を開き、子どもたちへの読み書き、俳句、華道などの教育にあたりました。

常に謙虚で誠実な行動は、村民の尊敬と信頼を集めました。弟子たちがその功績を後世に伝えるために建てた筆塚が、今も天神下（湯上市昭和）に残っています。

飯塚（湯上市飯田川）の出身。代々続く農家に仕え、飯塚地区の開墾事業を数多く手がけました。

その後天王に移住し、開墾に取りかかります。砂丘で土地が荒れた天王での開墾は難航し、特に水源の確保は困難を極めました。実地調査を重ね、上新城（秋田市）から水を引く事業に着手。長さ20キロにもおよぶ水路の建設は、機械のない当時としては想像を絶する一大事業でしたが、苦勞に苦勞を重ねて成功を収めました。

この水路が二田堰（長之丞堰）で、これをもとに道路や農地の開拓を進め、村を作る



二田堰



天王地区の開拓に心血を注ぐ

二田是雄

[1830~1883]

ための農民を集めます。是雄はこの村を「二田村」と名付けました。

また、息子の是儀も開拓に従事しました。親子二代の努力が、後の二田地区の大きな発展の礎となり、現在に至っています。



地域開発と村民の豊かな生活を実現

鐙長右衛門

[1830~1896]

下蛇川（湯上市飯田川）生まれ。青年時代に山林の管理などを務めた後、下蛇川村の総代人（総代理人）になります。

下蛇川の農地不足を解消するため、県有地だった八郎湖沿岸の浅瀬を払い下げてもらい、大規模な開墾を行いました。やがて村全体の事業となり、多くの新田が村民に配分されました。また、郵便



飯塚新道

局・警察署・裁判所などの公共機関の誘致、土崎（秋田市）から医者呼び寄せで開業させるなど、私財を投じて地域の発展に尽しました。

長右衛門の最大の事業は、飯田川を経由して大きな市場がある五十目（五城目町）と各地を結ぶ道路の開発でした。資金難により着手までは長い時間を要しましたが、何度も陳情を繰り返した末、県の事業に採用されました。

この道路は現在の飯塚新道であり、長右衛門の努力の賜物が、今日も市の主要道路として生き続けています。

◆近代化産業遺産

豊川油田跡

かつて秋田県は「石油王国秋田」とも呼ばれ、国内における石油の一大産出地でした。その中の一つである豊川油田は、明治15年（一八八二）に石油開発の探査が始まり、大正2年（一九一三）に油田に成功します。最盛期には年間8万6千8百kgを産出し、油井の数は78本となり、県内でも有数の産出地でした。また、豊川は天然アスファルト（土瀝青）発祥の地としても知られ、石油、天然アスファ

ルト、天然ガスといった複数の資源が産出・利用されるとい、他には類を見ない歴史を持ちます。天然ガスは現在もわずかに産出しています。平成19年、経済産業省から「新潟など関東甲信越地域で始まった我が国近代石油産業の歩みを物語る近代化産業遺産群」の一つとして選ばれ、近代化産業遺産の認定を受けました。



天然アスファルト 発祥の地

ルーツは縄文時代まで遡ります。江戸時代後期には墨や灯油の原料として、明治時代には舗装用に生産されました。



◆国指定重要有形民俗文化財

八郎潟 漁撈用具



干拓事業が行われる前の八郎潟はきわめて豊富な漁場で、独特かつ多彩な漁法による漁業が行われていました。当時の漁業の様子を伝える貴重な資料として、先人たちが使用した漁撈用具が残されています。その中で八郎潟漁撈用具収蔵庫に保管されている78点・1隻の資料が、昭和35年に国の重要有形民俗文化財に指定されました。

また、天王グリーンランド・スカイタワー内「潟の民俗展示室」でも、さまざまな資料が展示されています。



◆市指定無形民俗文化財

新関ささら

〔毎年5月5日〕

昭和地区の新関に伝わる伝統芸能で約170年前に始まったとされ、現在も保存会による継承活動が盛んに行われています。

昔、旅人が男鹿で1頭の雌鹿をめぐる2頭の雄鹿の争いを目にしました。その光景は壮絶で美しいものだったと、八郎神社の近くに住む菅原孫兵衛に話し、踊りで再現した

ことが起源といわれています。刀で悪魔を払う四方斬り、棒つかいによる棒術のあり、大鹿（青）、中鹿（緑）、牝鹿（赤）の三匹とひょうとこ面の岡鹿によるささら踊りが行われます。鹿の頭をかぶった舞は大変珍しく、お囃子にあわせて男壮な舞が繰り広げられます。



◆市指定無形民俗文化財

ナマハゲ行事

〔毎年12月31日〕



国の重要無形民俗文化財に指定されている男鹿のナマハゲと同様に、天王地区においても古くからナマハゲ行事が行われています。

赤や青の鬼のような仮面をかぶり、ケデを身にまとい、出刃包丁や桶などを持ち、奇声をあげながら各家庭に現れるナマハゲ。

ナマハゲは子どもにとっては恐ろしい存在ですが、新春を迎える晴れやかな喜びを各家庭にもたらし、ナマハゲを通じて家族の絆がより深められることから、現在もさまざまな地区で伝統として引き継がれています。

文化と
伝承を
憶う。





ブルーホール

「ブルーホール」は、小玉醸造株式会社の日本酒貯蔵庫（一九三三年建築）をリノベーションした写真ギャラリーで、二〇〇九年にオープンしました。

湯上市出身の水中写真家・中村征夫氏の写真を常設展示し、招待作家による企画展や講演会・トークショー・コンサートなどのイベントも開催しています。



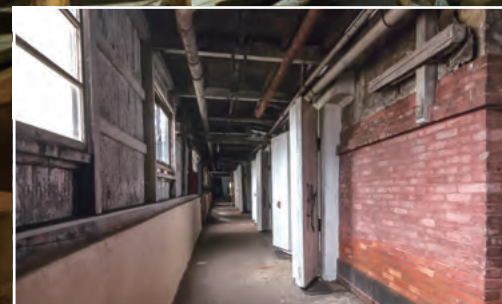
湯上
みどころ
Spot

小玉醸造

湯上市の醸造業の歴史は130年以上にもなります。明治12年（八七九）に小玉醸造株式会社が醤油・味噌の醸造元となり、大正2年（一九一三）に酒造も開始しました。

現在も市内では各地で醸造業が営まれています。代々受け継がれてきた熟練の技と地元産の良質な原材料により、生産量・品質ともに県内トップレベルです。

特に酒造では水が重要な原料の一つで、その良し悪しが品質に直接影響します。市内には豊かで良質な水をもたらす水源があるため、醸造に適した水を十分確保できています。



熟練の技逸品

〈味噌〉

米麴を贅沢に使い、米どころならではの製法で作られる「秋田味噌」。深い香りの中に独特の甘みと旨みがあります。



〈醤油〉

いろいろな料理に合うよう、「こいくち」、「うすくち」などの種類が作られています。健康に配慮し、塩分を減らした商品も開発されています。



〈米穀加工食品〉

秋田県産米を原料に、白玉粉やきな粉といった昔ながらの製品をはじめ、最近ではパンやケーキなどの洋菓子にも利用され、いろいろな新しい商品が登場しています。



〈清酒〉

酒造りのために研究・開発された「美山錦」などの良質な酒米を使い、蔵人のこだわりの製法で生み出された逸品が揃います。洗練された味と香りは国内のみならず世界的にも認められ、数々の賞を受賞しています。



〈創作こけし〉

その年の干支、農村の家族、伝統行事の鷺舞など、バリエーションに富んだ作品が作られています。やわらかい表情と可愛らしい佇まいは、見る者をほっこりした気分させてくれます。

お土産として人気があるほか、世界的にもたくさんの注目を集めています。





観賞温室
植物の生育環境の管理が徹底され、秋田県産の花や珍しい熱帯植物など、一年を通してさまざまな植物が多数展示されています。



アグリプラザ昭和
地元昭和地区で生産された草花、産直野菜、地域の特産品などを多数販売。「産品交流コーナー」では、秋田では珍しい県外の道の駅の商品を取り揃えています。



レストラン花の大地
窓の向こうに広がる花を楽しみながらお食事ができる、おしゃれで解放的な空間です。



「道の駅しょうわ」と「秋田県花き種苗センター」があるエリア一帯の愛称。ドイツ語で花を意味する「ブルーメ」と、市場を意味する「メッセ」を結び付けて、「ブルーメッセ」と名付けられました。

一年を通して多種多様な花を楽しめる芝生花壇広場や観賞温室をはじめ、特産品販売コーナー、レストランなど、訪れた人がさまざまなに楽しめる各種施設も充実しています。

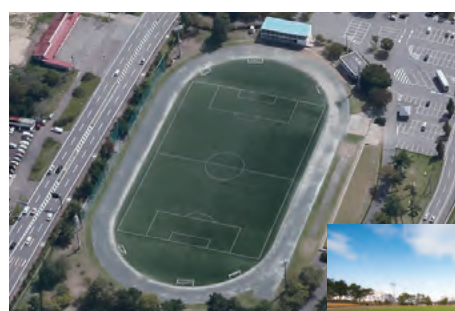
ブルーメッセあきた



天王温泉くら
県内最大級の公共温泉施設。和・洋2タイプの大浴場、高温・低温2種のサウナ、露天風呂のほか、岩盤浴、リラクゼーションといった癒しのスペースも充実。レストラン、貸し切り個室、120畳の大広間もあり、食事や宴会にも利用できます。



食菜館くら
地元産の安心・安全で新鮮な野菜、果物、鮮魚のほか、それらを利用して作られた加工品を販売。豊富な品ぞろえと手ごろな価格で大変人気があります。また、館内のレストランでは地元産の食材を使った料理を提供しています。



秋田県フットボールセンター
JFA公認の人工芝ピッチで、クラブハウスや夜間照明も完備。サッカー、ラグビー、陸上競技の練習、各種スポーツ大会、地域の運動会やイベントなど、スポーツ振興や地域の交流に広く活用されています。



天王グリーンランド

県内でも有数のレジャーエリア。県道56号に面し、「道の駅てんのう」として多くの人が訪れます。水と緑が美しい鞍掛沼の周囲に、高さ59・8メートルで市内や男鹿半島を一望できるスカイタワー、ピクニックやバーベキューを楽しめる広場、東湖八坂神社「続人行事」を学習できる伝承館、古代の集落を復元した歴史の広場など、多種多様に楽しめるスポットが盛りだくさんです。



出戸浜海水浴場



砂浜の長さはおよそ400メートル。海水浴に適した遠浅の海岸で、家族連れや若者たちで賑わいます。遠くに望む男鹿半島や鳥海山、赤々と輝きながら日本海に沈む夕陽という壮大なパノラマが目の前に広がります。

長沼球場

(追分地区公園)



平成24年から25年にかけての改修工事で、県内初となるLEDフルカラー電光掲示板の設置、外野フェンスの緩衝ラバーや防球ネットの新設など、高機能と安全性を兼ね備えた施設に生まれ変わりました。

公園内には球技場(サッカー、ラグビー可)全天候型テニスコート、散策路もあり、市民の健康づくりと憩いの場になっています。



バーベキュー広場
県内有数のバーベキュースポット。充実した設備で大変人気があります。春から秋にかけて、子どもからお年寄りまでたくさんのアウトドアを楽しむ人たちに利用されています。



伝承館 八坂の館
東湖八坂神社続人行事に関する博物館。行事の歴史やスナノオノミコトの神話を、展示やオブジェクトでわかりやすく説明しています。

潟上市MAP



1 潟上市役所



2 天王グリーンランド



3 東湖八坂神社



4 昭和工業団地



5 出戸浜海水浴場

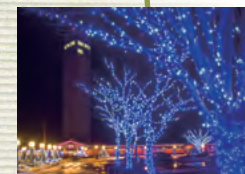
井川町



6 梅の里

イベントスケジュール

月	イベント
4月中旬	全県ふな釣り大会
7月6日・7日	東湖八坂神社例大祭
8月第1日曜日	鷺舞まつり
8月16日	八郎まつり
8月最終土・日曜日	天王グリーンランドまつり
10月中旬	潟上市健康マラソン大会
10月中旬～下旬	潟上市文化祭・産業まつり
12月～1月	天王グリーンランドイルミネーション点灯



7 元木山公園



9 ブルーメッセあきた



8 ブルーホール



10 潟上市郷土文化保存伝習館 (石川翁資料館)



潟上市 まちづくりの 基本目標

1 自然と共生する、
環境保全都市

2 安全に過ごせる、
安心居住都市

3 便利に住まえる、
快適空間都市

4 健やかに暮らす、
健康福祉都市

5 活力にあふれる、
田園拠点都市

6 次代の人が育つ、
生涯学習都市

7 みんなでつくる、
参画協働都市

前期基本計画における
重点テーマ

第2次潟上市総合計画

みんなで創る しあわせ実感都市 潟上

～文化の風薫る 笑顔あふれるまち～

市の
将来像

潟上市は、秋田県のほぼ中央の沿岸部に位置し、面積は97.73km²で県内では最小の市です。

市の中央部及び北部は秋田平野の北辺部にあたり、八郎湖に向かって広大な田園地帯が広がります。沿岸部には砂丘が連なり、集落や畑地、樹園地として活用されています。

県都秋田市に隣接したベッドタウンという都市的な特性もあり、鉄道や高速道路が整備され、秋田空港から車で30分程度の距離にあるなど、首都圏へのアクセス性も高まっています。

このように潟上市は、自然との共生と恵まれた居住環境という、地域の活性化への高い可能性を秘めています。

一方で、時代の潮流や住民ニーズの

変化によるまちづくりの課題も生じています。

少子高齢化・人口減少社会の進行による労働力の減少や地域活力の低下、地震・台風・集中豪雨などの自然災害に対する防災体制の強化、地球規模で深刻化する環境問題、互助機能の低下に伴う人々の地域社会からの孤立など、これからのまちづくりにおける様々な課題の解決に取り組む必要があります。

目指すべき将来像の実現に向け、市民と行政が協力し合う関係を生み出しながら、時代の変化や多様化する住民ニーズに柔軟に対応し、自主性と特性を活かした「潟上市に住むことに誇りをもてる」まちづくりを目指します。

まちづくりの
基本理念

【市民と行政がともに築くまち】
【豊かな自然と調和した住みよいまち】
【市民がしあわせを実感できるまち】

この3つがまちづくりの基本理念です。

潟上市は、市民が主人公という考えのもと「潟上市自治基本条例」を制定し、市民が主体的に市政に参画・協働する仕組みを構築し、「市民による市民のためのまちづくり」を推進してきました。

今後ともこれまでの市政運営の流れを継承しつつ、豊かな自然と地域資源の調和を保ちながら、健康で安心としあわせを感じられるようなまちづくりを進めていきます。



3 便利に住まえる、快適空間都市

(1) 道路・交通網の充実

市民が安全に市内を移動・交流できるよう、道路の新設改良と維持管理など計画的に整備を進めています。また、公共交通の利用状況やニーズ、地域の実情を考慮した役割・効果などを総合的に勘案し、公共交通機能の向上を目指しています。

- 幹線道路・生活道路の整備
- 道路維持の充実
- 除排雪体制の充実
- 鉄道の利便性向上
- 公共交通網の形成



(3) 上下水道等の整備

市民が快適に安心して生活ができるよう、上下水道の整備と適正な維持管理に努めています。

- 上水道の安定供給
- 災害時の飲料水確保
- 水道事業の経営安定化
- 下水道事業等の整備
- 水洗化の促進
- 下水道事業の経営安定化



(2) 都市環境の整備

人口減少・超高齢社会等に対応し、都市機能の集約促進等を目指した「コンパクトなまちづくり」を進めています。また、快適で安心な都市環境の整備を進めるため、計画的な地籍調査事業を推進しています。

- 多核ネットワーク型都市形成への誘導
- 適正な土地利用に向けた規制と誘導
- 都市景観の形成
- 緑化の推進
- 市営住宅の整備
- 地籍調査事業の推進



(4) 情報化社会の推進

市民の利便性を第一に、安心して利用できるICTを活用したサービスの提供を進めています。

- 行政サービスの情報化・効率化
- 情報セキュリティ対策の強化



1 自然と共生する、環境保全都市

(1) 自然環境の保全

地球温暖化対策や低炭素社会の構築、また地域の豊かな自然環境を保全する取り組みを進めています。

- 環境意識の高揚
- 温暖化対策の推進
- 八郎湖の水質保全対策の推進
- 公害対策の強化



(2) 循環型社会の形成

市民、事業者、市が情報を共有し、連携・協力しながらごみの減量や資源循環に取り組むことで循環型社会の形成を目指しています。

- ごみの減量化
- ごみの適正処理
- 廃棄物処理施設の整備



2 安全に過ごせる、安心居住都市

(1) 消防・防災対策の充実

防災力の体制強化に努め、安心して暮らせる総合的な防災対策を進めています。

- 防災対策の強化
- 地域防災力の強化
- 救助・救急体制の充実



(2) 交通安全・防犯対策の充実

事故や犯罪のない安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指しています。

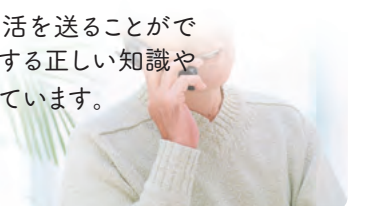
- 交通安全の推進
- 防犯体制の充実
- 空き家対策の強化



(3) 消費者対策の充実

安全・安心な消費生活を送ることができるよう、消費生活に関する正しい知識や情報の普及啓発を進めています。

- 相談体制の充実
- 消費者知識の普及啓発



5 活力にあふれる、田園拠点都市

(1) 農林水産業の振興

新規就農者の確保・育成を促進するとともに、経営の規模拡大や新たな複合経営、加工や流通・販売など異業種と連携した6次産業化への取り組みを進めています。また、農地や森林、湖、海洋の持つ多面的な機能の維持に努めています。

- 農林産物等の生産振興
- 農村環境の適切な保全管理
- 農業をリードする担い手の育成・確保
- 地産地消の推進
- 森林資源の保全と活用
- 内水面漁業の振興
- 海面漁業の振興



(2) 商工業の振興

新たな産業の育成と企業の立地環境の向上を目指しつつ、従来の地域商工業にも目を向けた施策を展開しています。

- 商業の振興
- 工業の振興
- 企業誘致の推進



(3) 観光の振興

既存観光施設等のさらなる充実と新たな観光資源の発掘、地域特性を活かし地場産品・特産品の開発・販路拡大などを進めています。

- 観光施設の整備・連携
- 観光イベントの充実
- 特産品等の開発・販売促進



(4) 定住・移住の推進

就業・雇用の場を確保することにより、市内で育った若者がそのまま定住できるよう、さらには、移住者やUJIターン者等、市外からの転入者の増加を図っています。

- 定住・移住の推進
- 雇用促進対策の推進



4 健やかに暮らす、健康福祉都市

(1) 市民の健康づくりの推進

市民一人ひとりが主体的に取り組むことができる健康づくりを進めています。

- 計画的な健康づくりの推進
- 市民の主体的な健康づくりへの支援
- 地域医療体制の充実



(2) 地域福祉の充実

すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域福祉活動の充実を図っています。

- 福祉意識の高揚と広報活動の充実
- 地域福祉体制の充実
- 地域福祉を担う人材育成の推進



(3) 高齢者福祉の充実

高齢者が住み慣れた地域で自分らしくいきいきと生活ができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。

- 介護予防と地域の支え合いの推進
- 高齢者の生きがい対策の推進

(4) 障がい者福祉の充実

市民の障がいに対する理解を深めるとともに、本人の自主性・主体性を尊重した生活を支える総合的な支援体制の充実を図っています。



- 地域における生活支援体制の充実
- 障がいのある人一人ひとりの自立と社会参加の促進
- 心のバリアフリーの推進

(5) 社会保障の充実

各種社会保障制度の正しい理解のもと、市民に対する啓発活動に努めながら、適正かつ効率的な事業運営を図っています。

- 国民健康保険事業の適正な運営
- 後期高齢者医療制度の周知
- 介護保険事業の健全な運営
- 国民年金制度の周知と加入促進
- 生活保護制度の適正な実施とセーフティネットの確保



6 次代の人が育つ、生涯学習都市

(1) 子ども・子育て支援の充実

安心して妊娠、出産、子育てを行えるよう、切れ目のない支援体制の充実を図っています。また、子育て家庭の経済的な負担軽減と心身の健康の保持と生活の安定を図り、子どもが健やかに育つ地域社会の構築を目指しています。

- 子どもを産み育てやすい環境づくり
- 妊産婦の健康管理体制の充実
- 乳幼児の健康管理体制の充実
- 保育サービスの充実
- 幼児教育の推進
- 教育・保育の質の向上と幼保一体施設の整備
- 感染症対策の推進
- 思春期保健対策の拡充
- ひとり親家庭等への自立支援の促進
- 子ども医療費助成制度の拡充
- 要保護児童への支援の充実
- 出会い・結婚の支援



(2) 学校教育の充実

幅広い視野に立って柔軟に考え、郷土を愛し、思いやりの心をもって、自ら行動できる子どもたちを育むよう、学校教育の充実を図っています。また、「まちづくりは人づくり」を継続的に実践・発展させていくために必要な学習環境や教育施設の整備を進めています。

- 教育内容の充実
- 「ふるさと教育」と「心の教育」の推進
- 教育環境の整備・充実
- 相談体制の充実
- 特別支援教育の推進
- 家庭・地域との連携
- 学校保健の充実
- 学校給食の充実
- 教育に対する保護者負担の軽減



(3) 生涯学習の推進

生涯学習活動をととして、地域の教育力向上が図られるよう、一人ひとりが主体的に地域活動に参画し、相互に支え合いながら、地域課題の解決や地域の活性化に結びつくような生涯学習・社会教育事業を進めています。

- 生涯学習活動の推進
- 公民館事業の充実
- 図書館事業の推進



(4) 青少年の健全育成

青少年の健全育成団体や子ども会組織の体制強化を支援し、青少年の健全育成活動を進めています。また、すべての子どもが安心して快適に過ごすことができるよう、放課後児童クラブの運営と保育環境の向上を図っています。

- 家庭教育の充実
- 子ども会活動の充実支援
- 児童館活動の推進
- 青少年健全育成の体制強化
- 放課後児童クラブの運営



(5) スポーツ活動の推進

市民が自主的・主体的にスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう、各種スポーツ団体の組織強化及び指導者の確保・育成などの環境づくりの充実を図っています。

- 生涯スポーツの振興
- スポーツを通じた健康長寿社会の創生



(6) 文化・芸術活動の推進

芸術に触れる機会の創出をはじめ、市民の意欲あふれる芸術文化の振興と、文化財の保存・保護・継承に努めています。

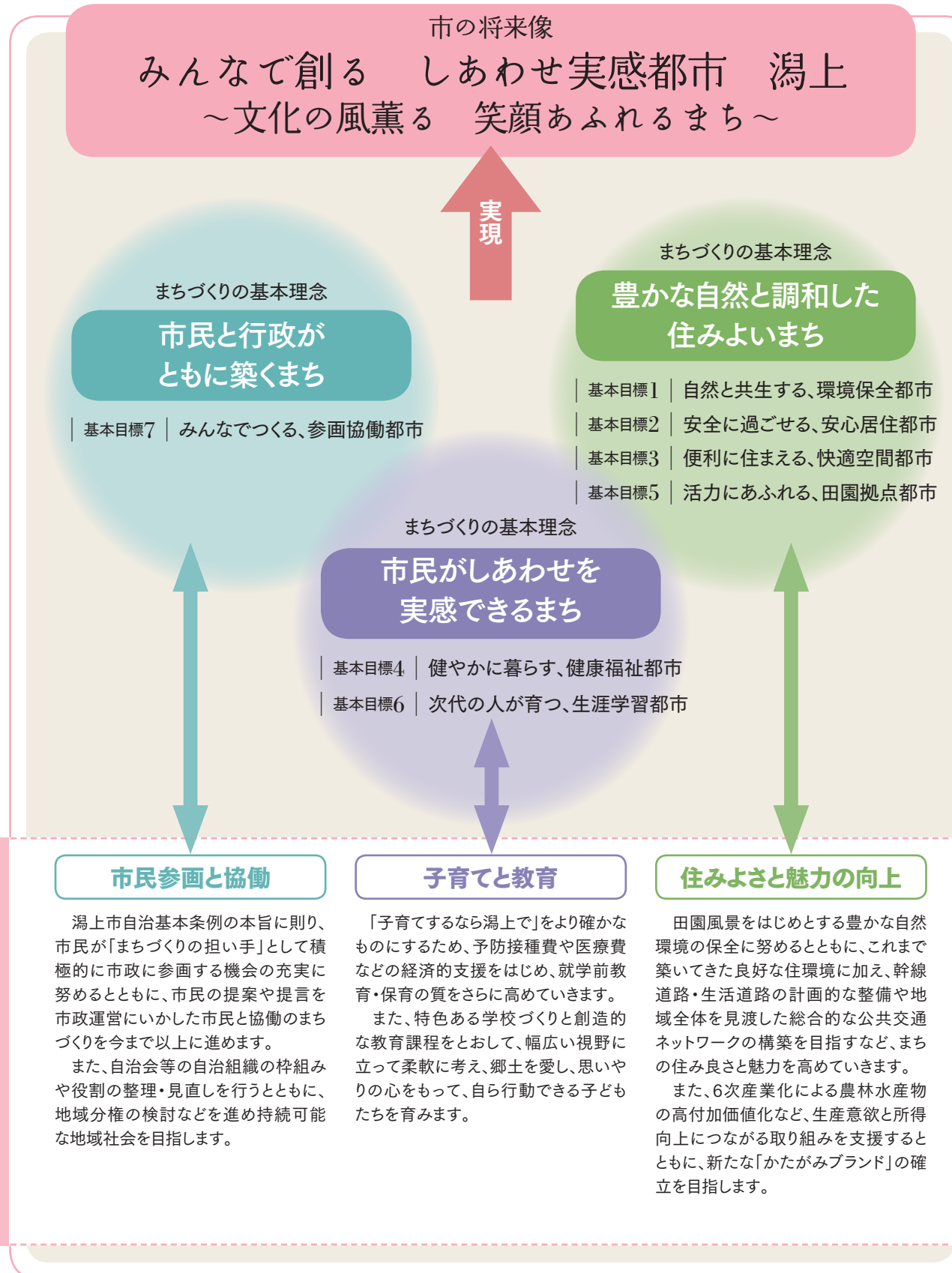
- 芸術文化活動の支援
- 芸術文化事業の振興
- 複合機能を持った文化会館的施設の整備検討
- 文化財の保護と活用
- 市史編さん資料の収集



前期基本計画における重点テーマ

総合計画は、本市におけるすべての計画や施策の最上位に位置づけられ、本市の行政運営の指針として、行政運営に必要な基本的なことを総括的に網羅していますが、その中から、特に前期基本計画の5年間で本市が最重要課題として取り組むテーマを設定します。

本市の誇りである豊かな自然と、人と人のつながりの中でいつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを、市民と行政がともに力を合わせて進めていくことにより、市の将来像の実現を目指します。



7 みんなでつくる、参画協働都市

(1) 参画・協働の推進

市民の自発的活動に基づくまちづくりへの提案や提言を市政運営にいかし、市民との協働のまちづくりを進めています。また、大学の知的財産や人材等を活用することにより、本市の政策推進、及び人材育成や個性豊かでいきいきとしたまちづくりを目指しています。

- 市民参画の推進
- ボランティア活動の推進
- 自治基本条例の適切な運用
- 大学との連携による地域活性化の推進



(2) 地域コミュニティの育成

市民のコミュニティ意識の高揚に努めるとともにコミュニティ活動を促進し、世代や男女を問わず、地域の誰もが、心豊かにふれあい、安全で安心に暮らせる地域社会の構築を目指しています。

- 地域コミュニティ活動の支援
- 市民の自主的活動の促進

(3) 人権尊重・男女共同参画の推進

すべての人々の人権が尊重される地域社会の構築を目指しています。また、男性も女性も性別に捉われず、自分らしくいきいきと暮らせ、個性を尊重できるような施策を進めています。

- 人権啓発活動の充実
- 男女共同参画の推進
- 女性の自立支援と働きやすい環境づくり
- 男女がともに安心して暮らせる社会の実現



(4) 国際交流の推進

国際感覚に優れた人づくり、まちづくりや、国際性に富んだ地域社会を形成していく取り組みを進めています。また、民間レベルで国際交流事業を進める団体への支援や、市民の交流活動への理解を高めるための人材育成を行っています。

- 市民主体の交流活動の推進
- 多文化共生社会づくりの推進

(5) 行政経営の推進

市民に信頼され、安心して生活できる行政運営を進めるため、その効率化に取り組みながら、住民サービスの向上に努めています。また、情報公開制度の適正な運用を図るとともに、個人情報保護の徹底を図っています。

- 組織改革の推進
- 地方分権に対応できる職員の養成
- 健全財政の確立
- 「湯上市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進
- 行政改革の推進
- 行政評価の推進
- 行政の広域的な連携
- 適正な公共施設の維持管理と整備
- 情報公開の推進と公文書の適正な管理
- 個人情報保護の強化
- 広報広聴活動の充実



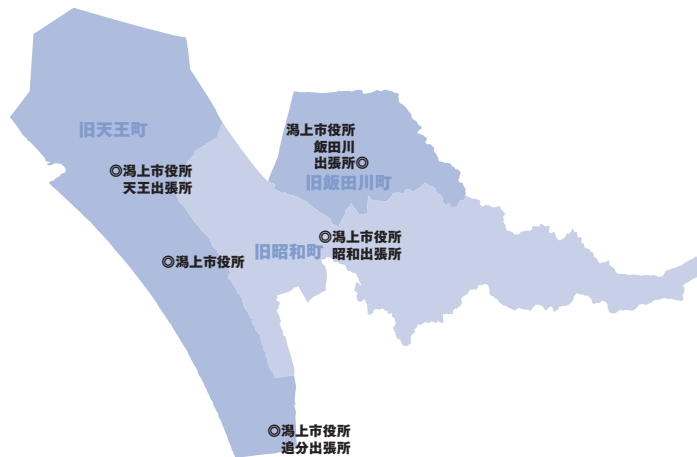
概要

潟上市は秋田県のほぼ中央の日本海沿岸に位置します。面積は県内の市では最小で、県都秋田市に隣接した都市的特性と、田園風景に代表される豊かな自然環境を併せ持っています。鉄道や高速道路が整備され、秋田空港から車で約30分の距離にあるなど、首都圏への利便性も高まっています。

潟上市の位置

庁舎	住所	電話番号
潟上市役所	〒010-0201 秋田県潟上市天王字棒沼台226-1	018-853-5301
潟上市役所 天王出張所	〒010-0201 潟上市天王字上江川47-441	018-853-5377
潟上市役所 昭和出張所	〒018-1401 潟上市昭和大久保字堤の上1-3	018-855-5110
潟上市役所 飯田川出張所	〒018-1502 潟上市飯田川下虻川字八ッ口70	018-877-7800
潟上市役所 追分出張所	〒010-0101 潟上市天王字長沼132-21	018-873-5672

◎潟上市



潟上市の面積

面積	面積(km ²)
潟上市	97.73

アクセス・交通

秋田空港	車で30分(秋田自動車道利用)
仙台	車で3時間30分 (東北自動車道、秋田自動車道利用)
東京	秋田新幹線で3時間30分 羽田空港から秋田空港まで1時間

心豊かに暮らせるまちづくりへ
共にあゆむ

行政・議会



地方分権の拡大に伴い、議会の果たすべき役割と責任は増大しています。適切な行政運営のための監視・評価や政策の立

市議会 は市民を代表し、市長等(執行機関)と対等な立場で市の行財政運営についての審議や決定を行う機関です。

市民・議会・行政が三位一体となった取組み

市民の主体的で幅広い行政参画のため、市民との情報共有や、市民からの提案を行政運営へ活かす取組みを進め、市民と行政が互いに協力しながらまちづくりを推進します。

市民と行政の協働によるまちづくり

潟上市議会各常任委員会構成

委員任期:平成28年2月22日～平成30年2月21日

総務文教常任委員会

委員長	中川光博
副委員長	佐藤義久
委員	堀井克見
	藤原幸雄
	戸田俊樹
	児玉春雄
	伊藤正吉

社会厚生常任委員会

委員長	西村武
副委員長	藤原典男
委員	佐々木嘉一
	千田正英
	大谷貞廣
	菅原久和

産業建設常任委員会

委員長	小林悟
副委員長	菅原理恵子
委員	鎧仁志
	澤井昭二郎
	鈴木斌次郎
	伊藤榮悦

議会運営委員会

委員長	戸田俊樹
副委員長	菅原久和
委員	西村武
	千田正英
	中川光博
	大谷貞廣

広報編集特別委員会

委員長	伊藤正吉
副委員長	菅原理恵子
委員	西村武
	戸田俊樹
	佐藤義久
	大谷貞廣

案・提言など、議会としての機能強化が求められています。また、市民に開かれた議会を目指し、説明責任と政策の実現にも努めなければなりません。

市民・議会・行政が三位一体となり、

それぞれの役割と責任を理解しながら、

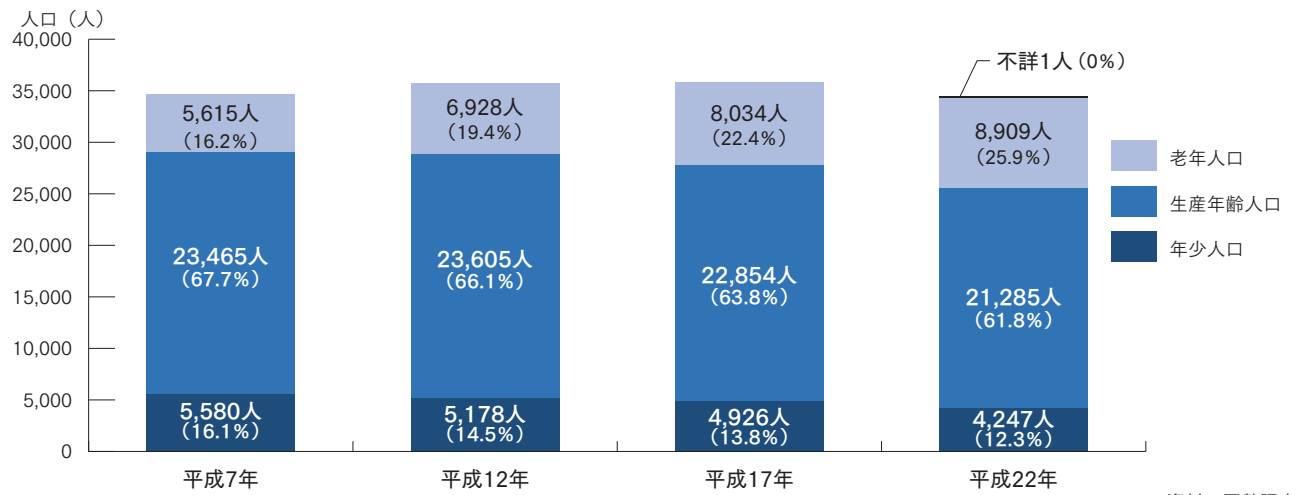
ら、市民福祉の向上と地域社会の発展に取り組んでいく必要があります。



年齢別人口構成の推移

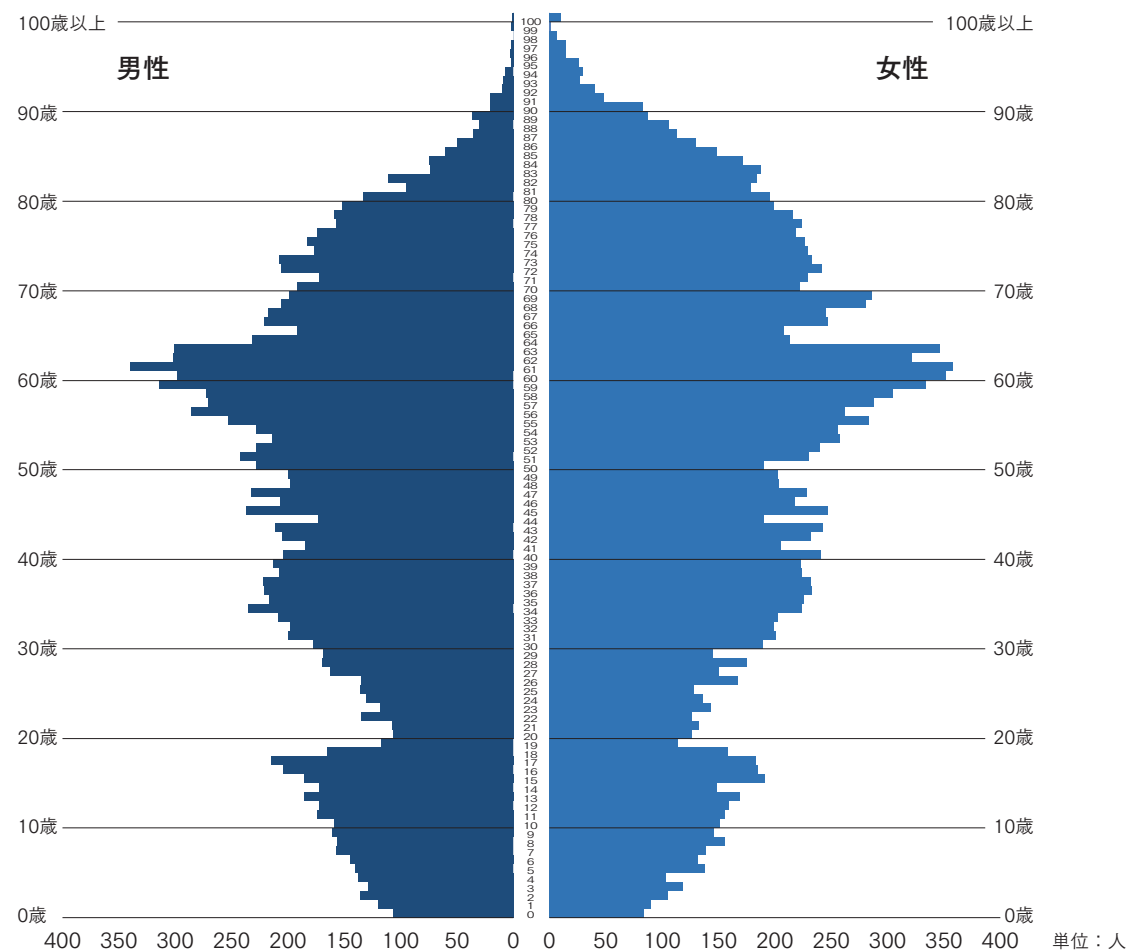
	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年	
	人口（人）	割合（％）	人口（人）	割合（％）	人口（人）	割合（％）	人口（人）	割合（％）
年少人口	5,580	16.1	5,178	14.5	4,926	13.8	4,247	12.3
生産年齢人口	23,465	67.7	23,605	66.1	22,854	63.8	21,285	61.8
老年人口	5,615	16.2	6,928	19.4	8,034	22.4	8,909	25.9
不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
合計	34,660		35,711		35,814		34,442	

資料：国勢調査



資料：国勢調査

男女別・年齢別人口

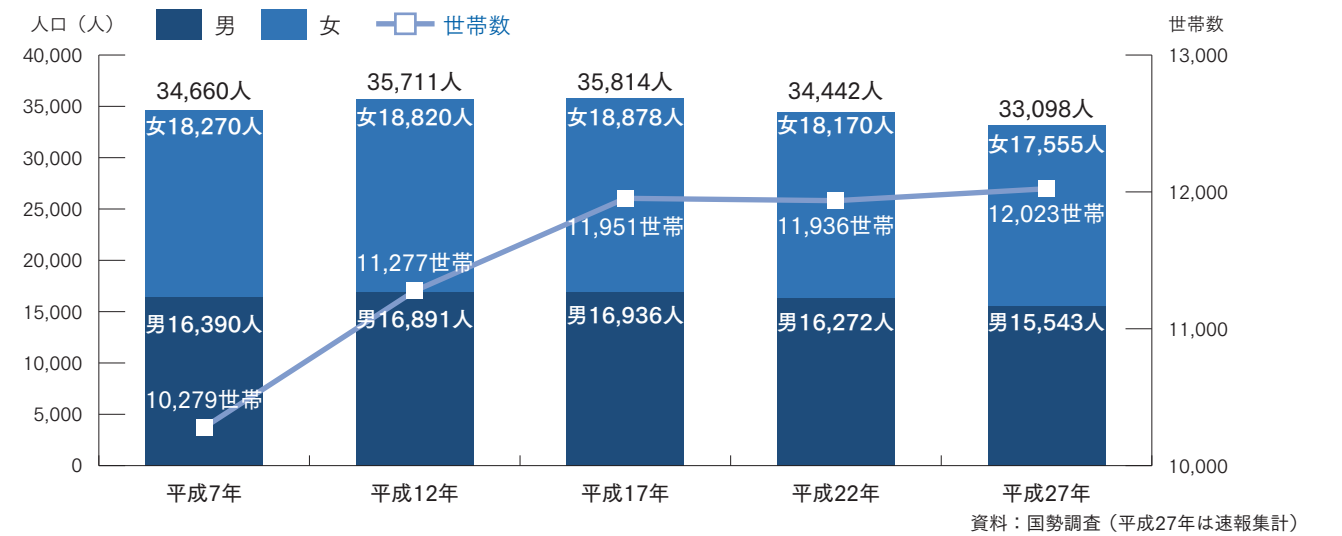


人口

平成17年(2005)に35,814人でピークとなり、平成22年(2010)では34,442人と減少をはじめています。年少人口・生産年齢人口が減少傾向にあり、老年人口は増加を続けています。

世帯数の増加傾向に伴い一世帯あたりの人数は減少し、単独および夫婦のみ世帯の増加など、世帯の多様化が進行しています。

人口の推移



資料：国勢調査（平成27年は速報集計）

地区別人口

	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年	
	人口（人）	割合（％）	人口（人）	割合（％）	人口（人）	割合（％）	人口（人）	割合（％）
天王地区	20,438	58.97	21,687	60.73	22,373	62.47	21,914	63.63
昭和地区	9,220	26.60	8,997	25.19	8,610	24.04	8,018	23.28
飯田川地区	5,002	14.43	5,027	14.08	4,831	13.49	4,510	13.09
合計	34,660		35,711		35,814		34,442	

資料：国勢調査

住民基本台帳で見る人口と世帯数

◎人口動態の推移

単位：人

年度	自然動態			社会動態		
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減
平成22年度	191	417	△ 226	964	912	52
平成23年度	220	391	△ 171	891	961	△ 70
平成24年度	203	420	△ 217	801	963	△ 162
平成25年	209	433	△ 224	877	945	△ 68
平成26年	202	384	△ 182	871	900	△ 29

資料：住民基本台帳（平成25年からは暦年による）年報

◎人口と世帯（各年3月31日現在）

単位：人

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
人口	34,997	34,827	34,556	34,266	33,971	33,800
男	16,701	16,612	16,473	16,330	16,171	16,086
女	18,296	18,215	18,083	17,936	17,800	17,714
世帯数	12,915世帯	13,014世帯	13,121世帯	13,227世帯	13,260世帯	13,364世帯

資料：住民基本台帳

内水面漁獲の推移

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
漁獲量（t）	216	211	218	203	200
第1位	ワカサギ	ワカサギ	ワカサギ	ワカサギ	ワカサギ
第2位	シラウオ	シラウオ	シラウオ	コイ	コイ
第3位	コイ	コイ	コイ	シラウオ	シラウオ

資料：産業課

海面漁獲量の推移

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
漁獲量（t）	454	414	363	397	318
第1位	アジ	ハタハタ	アジ	アジ	ブリ
第2位	ハタハタ	ブリ	タラ	ハタハタ	スズキ
第3位	ブリ	タラ	ブリ	イワシ	タラ

資料：産業課

小売業の商店数・従業者数・年間販売額の推移

	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年	平成24年
商店数（箇所）	382	331	315	286	195
従業者数（人）	1,768	1,547	1,545	1,492	1,052
年間販売額（百万円）	22,683	18,817	18,709	19,074	15,596
1商店当たり（百万円）	59	56	59	66	79
1従業者当たり（百万円）	13	12	12	13	14

資料：商業統計（平成24年は経済センサスー活動調査）

事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
事業所数（箇所）	42	42	42	32	34
従業者数（人）	1,600	1,578	1,591	1,227	1,273
製造品出荷額等（万円）	2,543,382	2,690,447	2,551,048	2,382,967	2,714,188
1事業所当たり（万円）	60,556	64,058	60,739	74,467	79,829
1従業者当たり（万円）	1,590	1,705	1,603	1,942	2,132

資料：工業統計

主な観光地への入り込み状況

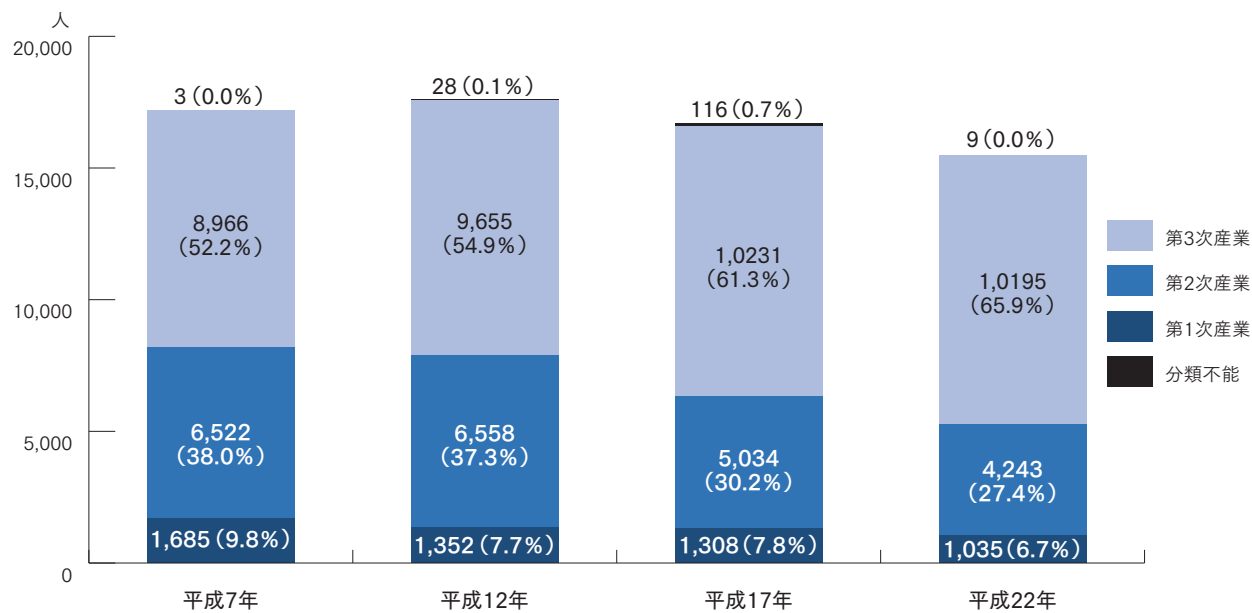
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
天王グリーンランド	481	557	511	499	525
天王温泉くらら	287	296	301	309	278
食菜館くらら	167	189	231	228	243
ブルーホール	16	9	9	8	4
出戸浜海水浴場	25	25	22	20	22
ブルーメッセあきた	292	274	274	278	292

資料：産業課

産 業

産業別就業者人口は、第1次・第2次・第3次とも減少傾向です。農林水産業は従事者の高齢化や輸入の増加などにより一層厳しい環境となっています。商工業でも、大型店や量販店の増加等による小売店舗数の減少、製造品出荷額等が伸び悩むなど苦戦が続いています。観光では、道の駅などの施設の利用者が多い一方、秋田市や男鹿市への通過型観光地となる傾向が課題となっています。

産業別就業人口



農業就業者数・経営耕地面積・農家数等の推移

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
農業就業者数（人）	1,530	1,245	2,053	1,633
経営耕地面積（ha）	3,226	3,124	3,008	2,414
田	2,994	2,942	2,855	2,262
（構成比）	92.8	94.2	94.9	93.7
畑	158	112	96	101
（構成比）	4.9	3.6	3.2	4.2
樹園地	74	70	57	51
（構成比）	2.3	2.2	1.9	2.1
農家数（戸）	2,067	1,624	1,359	996
専業	190	176	198	234
（構成比）	9.2	10.9	14.6	23.5
第1種兼業	407	275	229	147
（構成比）	19.7	16.9	16.8	14.8
第2種兼業	1,470	1,173	932	615
（構成比）	71.1	72.2	68.6	61.7

資料：農林業センサス

産業別就業人口の推移

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
1次産業	1,530	1,245	1,191	946
農業	1,530	1,245	1,191	946
林業	20	9	14	21
漁業	135	98	103	68
小計	1,685	1,352	1,308	1,035
構成比	9.8	7.7	7.8	6.7
2次産業	33	17	14	12
鉱業	33	17	14	12
建設業	2,884	3,091	2,488	2,048
製造業	3,605	3,450	2,532	2,183
小計	6,522	6,558	5,034	4,243
構成比	38.0	37.3	30.2	27.4
3次産業	72	80	61	45
電気ガス水道業	72	80	61	45
情報通信業	1,081	1,074	1,104	1,057
卸売小売業	3,292	3,439	2,975	2,772
金融保険不動産業	399	360	319	414
サービス業	3,549	4,106	5,174	5,316
公務	573	596	598	591
小計	8,966	9,655	10,231	10,195
構成比	52.2	54.9	61.3	65.9
分類不能	3	28	116	9
構成比	0.0	0.1	0.7	0.0
合計	17,176	17,593	16,689	15,482

資料：国勢調査

参考資料

概要

人口

産業

生活環境

社会福祉
教育文化

財政

行政

施設MAP

下水道の状況

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
公共 下水道事業	処理区域面積(ha)	620	620	620	621	628
	処理区域の人口(人)	18,328	18,395	18,432	18,352	18,491
	水洗化人口(人)	16,220	16,383	16,491	16,506	16,900
	普及率(%)	52.5	53.2	53.7	54.0	54.7
	水洗化率(%)	88.5	89.1	89.5	89.9	91.4
特定環境保全 公共下水道事業	処理区域面積(ha)	542	548	607	607	607
	処理区域の人口(人)	12,077	12,004	13,134	13,002	13,045
	水洗化人口(人)	7,589	7,789	9,025	9,176	9,301
	普及率(%)	34.6	34.7	38.3	38.3	38.6
	水洗化率(%)	62.8	64.9	68.7	70.6	71.3
農業集落 排水事業	処理区域面積(ha)	94	94	54	54	54
	処理区域の人口(人)	2,243	2,190	1,051	1,040	1,019
	水洗化人口(人)	1,740	1,707	694	699	718
	普及率(%)	6.4	6.3	3.1	3.1	3.0
	水洗化率(%)	77.6	77.9	66.0	67.2	70.5

※平成24年度の農集の数値減少理由は、天王羽立・湖岸地区を農集から特環に接続替えたため。

資料：上下水道課

ごみ処理量の推移

		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
可燃ごみ		9,203	9,159	9,502	9,811	9,843
資源ごみ		1,106	1,043	1,047	1,106	1,215
	古紙	1,010	949	947	987	944
	PET	96	94	100	98	99
	びん	—	—	—	21	172
不燃ごみ		785	730	720	688	507
粗大ごみ		577	597	740	603	616
有害ごみ		10	12	10	9	10
合 計		11,681	11,541	12,019	12,217	12,191
10月1日現在人口(人)※		34,997	34,731	34,462	34,162	33,948
1人1日排出量(g)		914	910	956	980	984

※10月1日現在人口は、秋田県年齢別人口流動調査による

資料：市民課

火災の発生及び救急出動状況

単位：件

平成26年度火災発生状況					平成26年度救急出動状況				
	天王	昭和	飯田川	計		天王	昭和	飯田川	計
建物	3	0	2	5	急病	533	185	113	831
林野	0	1	0	1	交通事故	57	25	10	92
その他	2	0	0	2	一般負傷	82	24	21	127
計	5	1	2	8	その他	90	35	14	139
					計	762	269	158	1,189

資料：湖東地区消防本部、男鹿地区消防本部

生活環境

市営住宅の状況

団地の名称	戸数(戸)	所在地
塩口北野団地	164	天王字塩口北野
二田新町団地	9	天王字上江川
一向団地	50	天王字一向
ハラヘ団地	10	天王字ハラヘ
山神南団地	47	昭和大久保字山神
竜毛団地	18	昭和豊川竜毛字観音田
昭栄団地	4	昭和乱橋字古開
新関団地	60	昭和大久保字北野武利子沢
大久保駅南団地	12	昭和大久保字町後
飯塚駅前団地	17	飯田川飯塚字中谷地
飯塚駅前第2団地	6	飯田川飯塚字樋ノ下
飯塚北団地	12	飯田川飯塚字塞ノ神
羽立街道下団地	4	飯田川下虻川字街道下

資料：都市建設課

公園の状況（平成27年4月1日現在）

	箇所数(箇所)	面積(m ²)
都市公園	20	645,660
農村公園	16	71,594
集落内公園、広場	48	187,557
合 計	84	904,811

資料：都市建設課

市道の状況

	実延長(m)	面積(m ²)	平均幅員(m)	改良率(%)	舗装済延長(m)	舗装率(%)
湯上市	400,061	2,955,106	5.8	87.2	366,338	91.6

資料：都市建設課

水道の状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
給水人口(人)	28,264	27,783	26,865	27,164	27,010
使用水量(千m ³)	2,648,666	2,587,953	2,639,303	2,521,909	2,498,740
普及率(%)	84.59	83.15	82.13	83.04	82.57

資料：上下水道課



潟上市の文化財

国指定文化財

種別(部門)	指定年月日	指定名称	員数	所在地
重要文化財(建造物)	S27.11.22	神明社観音堂	1棟	飯田川飯塚字中山16
重要有形民俗文化財	S35.6.9	八郎潟漁撈用具	78点・1隻	昭和大久保字元木山根50
重要無形民俗文化財	S61.1.14	東湖八坂神社祭のトウニン(統人)行事		潟上市天王・男鹿市船越
重要文化財(建造物)	H20.12.2	小玉家住宅	4棟	飯田川飯塚字飯塚68

秋田県指定文化財

種 別(部門)	指定年月日	指定名称	員数	所在地
有形民俗文化財	S55.12.11	八郎潟出土くり船	1隻	昭和大久保字元木山根50
史跡	S39.4.16	石川理紀之助遺跡		昭和豊川山田字家の上62

潟上市指定文化財

指定年月日	指定名称	員数	所在地
有形文化財(建造物)			
S53.9.28	北野神社奥殿	1棟	天王字上出戸231
有形文化財(絵画)			
H.16.3.30	扁額(俳諧)	1額	飯田川飯塚字中山地内
H.16.3.30	扁額(連歌)	1額	飯田川飯塚字中山地内
S54.6.1	地獄絵図	12幅	飯田川飯塚字中山地内
S57.4.21	釈迦涅槃図	1幅	飯田川飯塚字中山地内
S57.4.21	佐竹義隆公肖像画	1幅	飯田川下虻川字屋敷1
S57.4.21	鐘市太郎翁肖像画	1幅	飯田川下虻川字屋敷1
S57.4.24	松に鷹	1枚	天王字上出戸231
S57.4.24	想夫恋の図	1枚	天王字上出戸231
S57.4.24	錦帯橋	1枚	天王字上出戸231
S58.2.18	川中島合戦の図	1枚	天王字天王24
有形文化財(彫刻)			
S57.4.21	木像観音像	28躯	飯田川飯塚字中山地内
有形文化財(考古資料)			
S62.7.17	板碑(割石板碑)	1基	昭和大久保字町後7
S53.9.29	羽白目遺跡出土「秋田瓦」	1括	昭和大久保字元木山根50
S53.9.29	経石	1括	昭和大久保字元木山根50
H7.9.11	土師器壺型土器	2片	天王字北野
H7.9.11	五輪塔	1基	天王字天王71
S54.6.1	宝篋印塔	1塔	飯田川飯塚字飯塚
S57.4.21	貞和年号板碑	4基	飯田川飯塚字中山
S58.2.18	板碑	1基	天王字下出戸117
有形文化財(歴史資料)			
S63.6.28	高札	1枚	飯田川下虻川字屋敷1
S63.6.28	佐竹義隆公自作の人形	3体	飯田川下虻川字屋敷1
S63.6.28	佐竹義隆公下賜の燈籠	2個	飯田川下虻川字屋敷1
S63.6.28	焼印 酒屋家符札	1枚	飯田川下虻川字屋敷1
S63.9.19	油煙工場の図	1幅	昭和豊川槻木字真形尻39
H2.7.30	明治9年大久保管内図		昭和豊川山田字家の上62
S53.9.29	菅原源八翁日誌・随筆	47巻・24編	昭和大久保字小川中道66-1
S57.4.24	黒印御定書	1冊	天王字上江川47
S57.4.24	検地帳	1冊	天王字上江川47

指定年月日	指定名称	員数	所在地
有形民俗文化財			
S54.6.1	萬霊供養塔	1塔	飯田川飯塚字飯塚
H7.9.11	大漁供養塔	1基	天王字塩口105
S53.9.28	鯽塚	2基	天王字下浜山156
S53.9.28	鯽塚	6基	天王字干拓146-7
S53.9.28	三十三番観音碑	14基	市内(県道秋田・男鹿線沿い)
S57.4.24	手水鉢	1基	天王字天王24
S57.4.24	狛犬	1対	天王字上出戸231
S58.2.18	雨乞いの石蔵	1基	天王字天王24
H13.3.9	潟船	13隻	天王字上江川47
H22.3.26	木造十王像 (十王像10躯、褌衣婆像1躯、獄卒像3躯、十王審理の様子一式)		飯田川飯塚字中山14
H25.6.28	飯塚観世音三十三番石仏	32躯体	飯田川飯塚字中山16
無形民俗文化財			
S53.9.29	新聞ささら		昭和大久保新聞地区
H12.11.28	ナマハゲ行事		天王一円
史跡			
S63.6.28	佐竹藩御休所跡		飯田川下虻川字城の後
H6.3.9	菅原源八翁筆塚	1基	昭和大久保字北野大崎道添29-3
S53.9.29	船橋経塚		昭和豊川船橋地内
S53.9.29	明治天皇御休所		昭和大久保字大清水地内
S57.5.21	御野立所		昭和豊川槻木字草生土沢97-7
S63.9.19	豊川油田網堀式1号井跡		昭和豊川槻木字真形尻56
H16.12.3	塩口「古井戸跡」		天王字塩口418
天然記念物			
S54.6.1	槻の木	6本	飯田川下虻川字屋敷
H5.12.20	和田妹川神明社のもみの木	1本	飯田川和妹川字和田
H5.12.20	上堤敷のけやき	1本	飯田川飯塚字上堤敷
H17.3.8	照明寺の赤松	1本	昭和豊川槻木字大宮34
H17.3.8	真形の黒松	1本	昭和豊川槻木字真形尻71
H17.3.8	月山神社のけやき	2本	昭和大久保字山神37
S53.9.28	サイカチの群生林	群	天王字天王106
S53.9.28	カシワの群生林	群	天王字中浜山42
S53.9.28	餅肌の秋田杉	1本	天王大崎字上沖中谷地15

社会福祉・教育文化

後期高齢者医療の状況

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受給者数(人)	4,273	4,413	4,523	4,652	4,778	4,854
医療件数(現物給付)(件)	137,065	138,802	142,272	145,544	150,195	152,064
医療件数(現金給付)(件)	1,521	1,413	1,410	1,374	1,583	1,839
1人当たりの医療負担額(円)	826,517	847,008	857,764	855,521	869,149	838,417
1件当たりの医療負担額(円)	25,484	26,658	27,002	27,089	27,361	26,443

資料：長寿社会課

保育園の状況（平成27年4月1日現在）

	組数	園児数			保育士数 ()は正職員	1組当たりの 園児数	保育士1人 当たりの園児数
		総数	男	女			
二田保育園	6	95	52	43	18 (6)	15.9	5.3
湖岸保育園	6	55	33	22	13 (6)	9.2	4.2
追分保育園	7	158	79	79	31 (11)	22.6	5.1
昭和西保育園	3	27	16	11	7 (3)	9.0	3.9
昭和東保育園	2	15	8	7	6 (2)	7.5	2.5
合 計	24	350	188	162	75 (28)	14.6	4.7

資料：幼児教育課

幼稚園・認定こども園の概要（平成27年5月1日現在）

	組数	園児数			教員数	1組当たりの 園児数	保育士1人 当たりの園児数
		総数	男	女			
天王幼稚園	4	91	41	50	11	22.8	8.3
昭和中央保育園	6	92	46	46	19	15.3	4.8
出戸こども園	9	151	84	67	22	16.8	6.9
若竹幼児教育センター	5	115	55	60	21	23.0	5.5
追分幼稚園（私）	5	71	43	28	11	14.2	6.5
合 計	29	520	269	251	84	17.9	6.2

資料：学校基本調査

学校別生徒数の推移

	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
天王小学校	470	466	462	443	447
東湖小学校	137	125	127	112	100
出戸小学校	287	263	255	235	243
追分小学校	378	389	385	373	376
大豊小学校	*328	306	283	284	265
飯田川小学校	222	211	200	198	205
小 計	1,822	1,760	1,712	1,645	1,636
天王中学校	302	308	300	309	295
天王南中学校	364	342	345	337	327
羽城中学校	327	311	311	287	270
小 計	993	961	956	933	892
合 計	2,815	2,721	2,668	2,578	2,528

※大久保小・豊川小の合算値

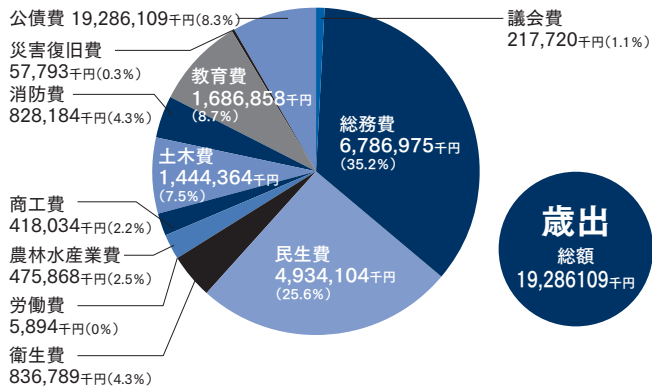
資料：学校基本調査

小・中学校の教員数

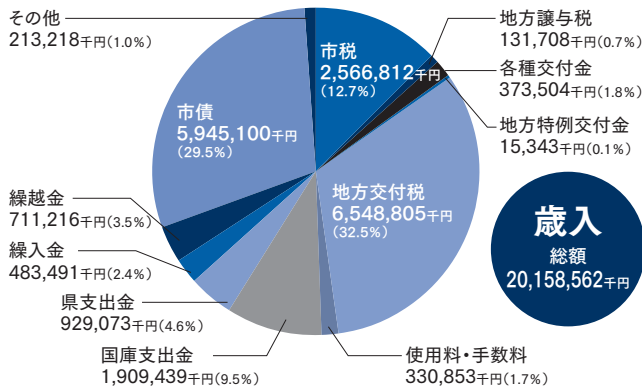
	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
小学校	131	129	120	115	113
先生一人当たり の児童数	11.4	13.6	14.3	14.3	14.5
中学校	77	75	75	77	78
先生一人当たり の児童数	12.9	12.8	12.7	12.1	11.4
合 計	208	204	195	192	191
先生一人当たり の児童数	12.0	13.3	13.7	13.4	13.2

資料：学校基本調査

平成26年度普通会計決算額(目的別歳出)



平成26年度普通会計決算額(歳入)



市税負担の状況

単位：千円

	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	決算額	1人当たり負担額	1世帯当たり負担額	決算額	1人当たり負担額	1世帯当たり負担額	決算額	1人当たり負担額	1世帯当たり負担額
市民税	1,064,658	31,070	80,491	1,094,721	32,225	82,558	1,112,362	32,910	83,236
個人分	971,092	28,340	73,417	992,683	29,221	74,863	995,195	29,444	74,468
法人分	93,566	2,730	7,074	102,038	3,004	7,695	117,167	3,466	8,768
固定資産税	1,016,852	29,675	76,877	1,041,664	30,663	78,557	1,068,285	31,606	79,938
純固定資産税	1,010,040	29,476	76,362	1,037,136	30,530	78,215	1,064,288	31,488	79,639
交付金納付金	6,812	199	515	4,528	133	341	3,997	118	299
軽自動車税	69,327	2,023	5,241	72,180	2,125	5,443	74,318	2,199	5,561
市たばこ税	203,844	5,949	15,411	238,978	7,035	18,022	232,096	6,867	17,367
鉱産税	106	3	8	107	3	8	109	3	8
特別土地保有税	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2,354,787	68,720	178,028	2,447,650	72,051	184,589	2,487,170	73,585	186,110
人口及び世帯数 (3月31日現在)		34,266	13,227		33,971	13,260		33,800	13,364

財政指標

単位：千円

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実質収支	500,464	657,651	594,216
実質収支比率	5.2	6.8	6.1
標準財政規模	9,551,499	9,609,134	9,671,048
基準財政収入額	2,258,517	2,330,741	2,431,122
基準財政需要額	7,078,619	7,066,276	7,272,988
財政力指数	0.32	0.32	0.33
公債費比率	8.9	6.9	6.2
実質公債費比率	11.1	9.2	7.7
地方債現在高	12,141,556	13,969,231	18,496,312
債務負担行為翌年度以降支出予定額	358,863	855,684	555,306
積立金現在高	2,693,554	3,996,831	4,624,169
(うち、財政調整基金)	1,622,808	1,934,662	2,187,917
経常収支比率	89.6	88.4	90.5
市税徴収率	87.0	87.8	88.3
職員数	(平成24年4月1日現在)276人	(平成25年4月1日現在)274人	(平成26年4月1日現在)269人

財 政

財政健全化法に基づく各種指標は年々改善が図られているものの、人口減少による歳入の減少や超高齢社会の進行による歳出の増加、合併優遇措置の終了による地方交付税の縮減など、中長期的には今以上に厳しい状況が見込まれます。

普通会計決算の状況

普通会計決算収支の推移

単位：千円

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越財源	実質収支	単年度収支	実質単年度収支
平成24年度	15,206,305	14,473,040	553,265	52,801	500,464	△ 104,642	297,655
平成25年度	17,347,633	16,636,417	711,216	53,565	657,651	157,187	469,041
平成26年度	20,158,562	19,286,109	872,453	278,237	594,216	△ 63,435	332,465

普通会計決算額(歳入)の推移

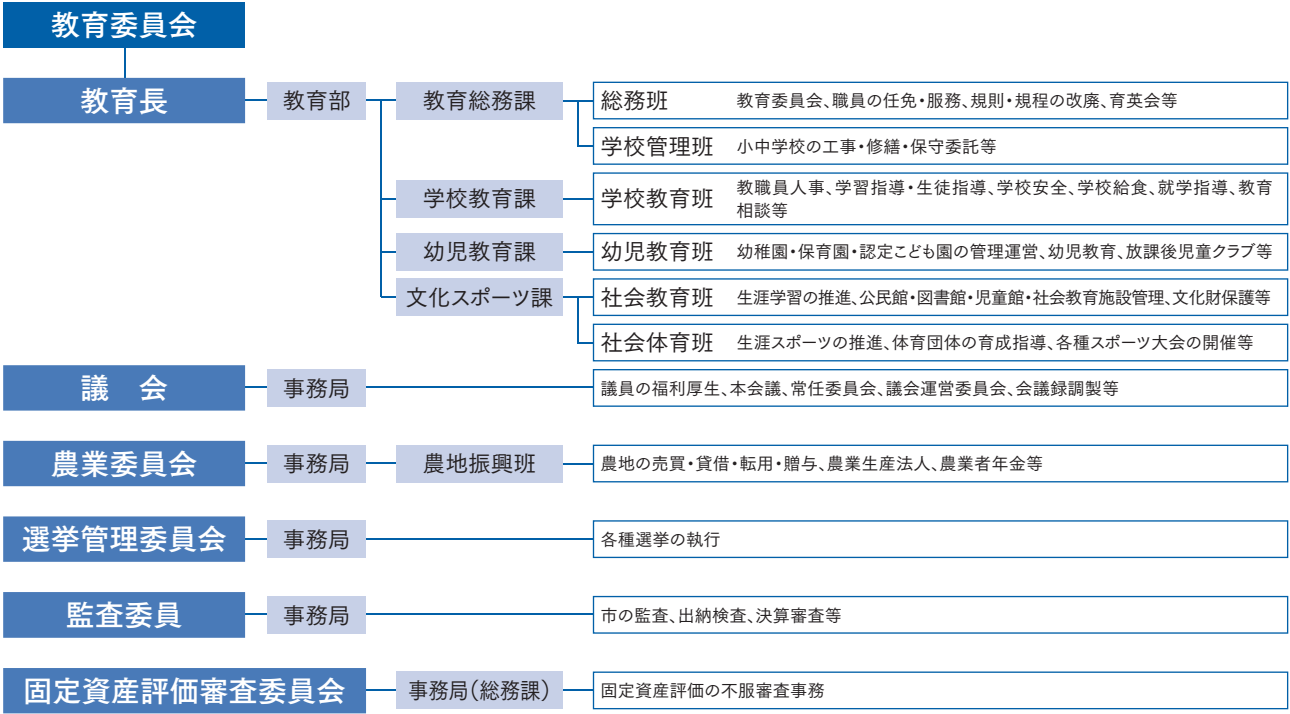
単位：千円

	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)
市 税	2,445,430	16.3	2,529,779	14.6	2,566,812	12.7
地方譲与税	146,116	1.0	139,237	0.8	131,708	0.7
各種交付金	310,017	2.1	315,010	1.7	373,504	1.8
地方特例交付金	17,484	0.1	16,126	0.1	15,343	0.1
地方交付税	6,854,692	45.6	6,602,703	38.1	6,548,805	32.5
使用料・手数料	324,791	2.3	335,596	2.0	330,853	1.7
国庫支出金	1,730,462	11.5	2,565,273	14.8	1,909,439	9.5
県支出金	939,126	6.2	1,022,013	5.9	929,073	4.6
繰入金	118,108	0.8	26,597	0.2	483,491	2.4
繰越金	668,402	4.5	553,265	3.2	711,216	3.5
市 債	1,147,700	7.6	3,007,200	17.3	5,945,100	29.5
その他	323,977	2.0	234,834	1.3	213,218	1.0
合 計	15,026,305	100.0	17,347,633	100.0	20,158,562	100.0
一般財源	9,773,739	65.1	9,599,129	55.3	9,633,031	47.8

普通会計決算額(目的別歳出)の推移

単位：千円

	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)
議会費	212,732	1.5	199,772	1.2	217,720	1.1
総務費	1,874,175	12.9	3,065,033	18.4	6,786,975	35.2
民生費	4,542,635	31.4	4,640,837	27.9	4,934,104	25.6
衛生費	1,338,467	9.2	1,564,540	9.4	836,789	4.3
労働費	36,734	0.3	17,952	0.1	5,894	0.0
農林水産業費	502,540	3.5	747,571	4.5	475,868	2.5
商工費	246,567	1.7	273,516	1.6	418,034	2.2
土木費	1,384,205	9.6	1,766,137	10.6	1,444,364	7.5
消防費	797,038	5.5	808,123	4.9	828,184	4.3
教育費	1,870,964	12.9	2,159,029	13.0	1,686,858	8.7
災害復旧費	35,759	0.2	36,918	0.2	57,793	0.3
公債費	1,631,224	11.3	1,356,989	8.2	1,593,526	8.3
合 計	14,473,040	100.0	16,636,417	100.0	19,286,109	100.0

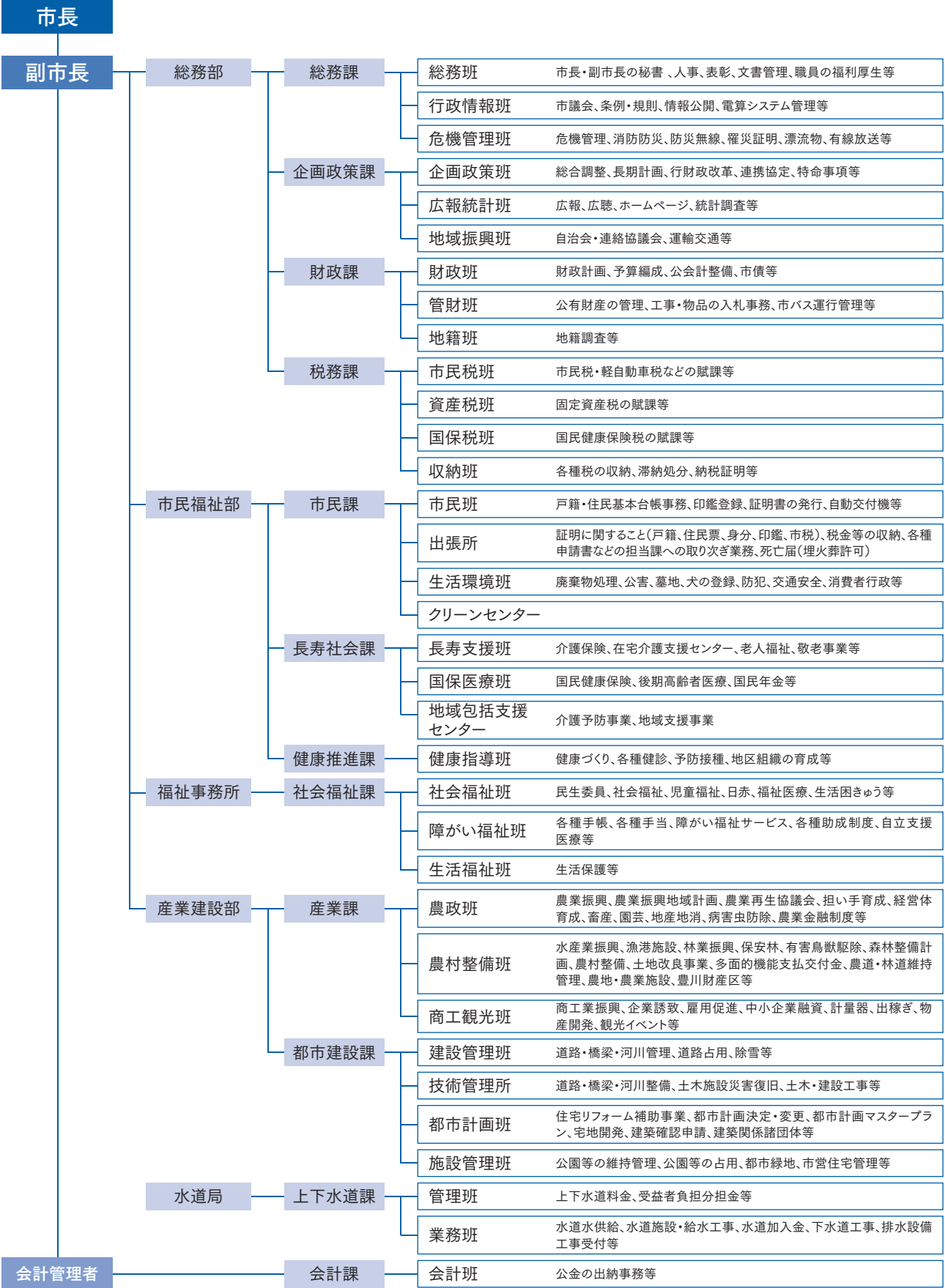


職員数 (平成28年4月1日現在)

	部局等	課局等	部長	職員	総数
市長部局	総務部	総務課	1	13	51
		企画政策課		11	
		財政課		11	
		税務課		15	
	市民福祉部	市民課	1	28	58
		長寿社会課		17	
		健康推進課		12	
	福祉事務所	社会福祉課	1	17	18
	産業建設部	産業課	1	12	27
		都市建設課		14	
教育委員会	教育部	教育総務課	1	10	107
		学校教育課		5	
		幼児教育課		73	
		文化スポーツ課		18	
水道局		上下水道課	1	11	12
会計課				4	4
議会事務局			1	4	5
農業委員会事務局			1	3	4
選挙管理委員会事務局				3	3
監査委員事務局					
合計			8	281	289

行政

行政組織 (平成28年4月1日現在)



各種行政委員会

農業委員会

職名	氏名	地区	区分
会長	佐藤 肇	天王	選挙
職務代理者	鎌田 善信	飯田川	選挙
農地委員	南都 武男	昭和	土改
農政委員	櫻庭 美知行	天王	農協
農地委員	高橋 義明	昭和	選挙
農政委員	伊藤 甚衛	昭和	選挙
農地委員	田仲 東	飯田川	選挙
農政委員	鈴木 爲彦	天王	選挙
農政副委員長	鎌田 久	飯田川	選挙
農地委員	西村 武	天王	学識
農政委員	鎧 正人	飯田川	選挙
農政委員	舘岡 美果子	昭和	学識
農政委員	青木 進	昭和	選挙
農政委員長	高橋 京子	昭和	選挙
農地委員	安田 又吉	天王	選挙
農地委員	佐々木 利光	昭和	選挙
農地委員	三浦 貞一郎	天王	選挙
農地委員長	菅原 良一	昭和	選挙
農地委員	菅原 権一郎	昭和	農協
農地副委員長	佐藤 利喜雄	天王	選挙
農政委員	櫻庭 由秋	天王	選挙
農政委員	戸田 金憲	天王	共済

(就任年月日：平成26年7月20日)

監査委員

職名	氏名	地区	区分	就任年月日
代表監査委員	渡邊 晋二	飯田川	識見者	平成25年6月27日
委員	菅原 久和	昭和	議会選出	平成26年3月 6日

教育委員会

職名	氏名	地区	就任年月日
委員長	加藤 裕一	天王	平成20年6月28日
委員長 職務代行者	菅原 俊	昭和	平成22年6月28日
委員	鈴木 政亞	飯田川	平成19年6月28日
委員	丸谷 昇	天王	平成25年6月28日
教育長	肥田野 耕二	天王	平成21年6月28日

固定資産評価審査委員会

職名	氏名	地区
委員長	伊藤 和人	飯田川
委員	菊地 福一郎	天王
委員	佐々木 博信	昭和

(就任年月日：平成26年6月27日)

選挙管理委員会

職名	氏名	地区
委員長	薄田 博	天王
職務代理者	小熊 顕二	飯田川
委員	菅原 徳志	昭和
委員	柏崎 重嗣	天王

(就任年月日：平成25年6月27日)

市長・副市長・教育長

	歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
市長	初代	石川 光男	平成17年4月17日	
副市長	初代	鎧 利行	平成18年6月26日	
教育長	初代	小林 洋	平成17年3月22日	平成21年6月27日
	二代	肥田野 耕二	平成21年6月28日	

※平成19年4月1日より地方自治法改正に伴い、「助役」から「副市長」に呼称変更

湯上市議会 議長・副議長

	歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
議長	初代	赤平 末次郎	平成17年3月28日	平成18年2月21日
	二代	藤原 幸作	平成18年2月22日	平成22年2月21日
	三代	千田 正英	平成22年2月22日	平成26年2月21日
	四代	伊藤 榮悦	平成26年2月22日	
副議長	初代	門間 英也	平成17年3月28日	平成18年2月21日
	二代	堀井 克見	平成18年2月22日	平成22年2月21日
	三代	佐々木 嘉一	平成22年2月22日	平成26年2月21日
	四代	鈴木 斌次郎	平成26年2月22日	





潟上市 管内施設MAP

- ◎市役所
- 1 潟上市役所
- 2 潟上市役所昭和出張所
- 3 潟上市役所飯田川出張所
- 4 潟上市役所追分出張所(潟上市勤労青少年ホーム)
- 5 潟上市役所天王出張所

- ◎保育園・幼稚園
- 6 潟上市立二田保育園
- 7 潟上市立湖岸保育園
- 8 潟上市立追分保育園
- 9 潟上市立昭和中央保育園(認定こども園)
- 10 潟上市立昭和東保育園
- 11 潟上市立昭和西保育園
- 12 潟上市立若竹幼児教育センター(認定こども園)
- 13 潟上市立天王幼稚園
- 14 潟上市立出戸こども園(認定こども園)
- 15 私立追分幼稚園(認定こども園)
- ◎小学校
- 16 潟上市立天王小学校
- 17 潟上市立出戸小学校
- 18 潟上市立東湖小学校
- 19 潟上市立追分小学校
- 20 潟上市立大豊小学校
- 21 潟上市立飯田川小学校

- ◎中学校
- 22 潟上市立天王中学校
- 23 潟上市立天王南中学校
- 24 潟上市立羽城中学校
- ◎高等学校
- 25 秋田県立秋田西高等学校
- ◎特別支援学校
- 26 秋田県立養護学校天王みどり学園
- ◎公民館
- 27 潟上市天王公民館
- 28 潟上市昭和公民館
- 29 潟上市飯田川公民館
- ◎図書館
- 30 潟上市図書館
- 31 潟上市昭和分館
- 32 潟上市追分分館
- 33 潟上市飯田川分館
- ◎児童館
- 34 潟上市追分地区児童館
- 35 潟上市昭和中央児童館
- 36 潟上市若竹児童センター
- ◎保健・福祉センター／在宅介護支援センター
- 37 潟上市天王保健センター
- 37 潟上市天王福祉センター
- 38 潟上市飯田川保健福祉センター
- 39 老人介護支援センターてんのう
- 40 潟上市昭和在宅介護支援センター
- 41 潟上市飯田川在宅介護支援センター
- 42 潟上市昭和介護予防センター
- ◎廃棄物処理施設
- 43 潟上市クリーンセンター
- ◎防災センター
- 44 潟上市天王コミュニティ防災センター
- ◎資料館等
- 45 潟上市郷土文化保存伝習館(石川翁資料館)
- 46 潟上市八郎まつり伝承館
- 47 天王郷土館
- 47 天王伝承館
- 48 八郎潟漁撈用具収蔵庫
- 49 潟の民俗展示室
- ◎公園・観光施設等
- 50 天王グリーンランド・道の駅てんのう(鞍掛沼公園)
- 50 天王温泉くらら(天王ふれあい交流センター)
- 50 食彩館くらら(潟上市農山漁村活性化施設)
- 51 追分地区公園
- 52 元木山公園
- 53 飯田川南公園
- 54 出戸浜いこいの森
- 55 出戸浜海水浴場
- 56 梅の里
- 57 ふたあらの丘
- 58 ブルーメッセあきた・道の駅しょうわ(アグリプラザ昭和)
- 59 豊川油田跡
- 60 中村征夫フォトギャラリー・ブルーホール
- ◎体育館・武道館等
- 61 潟上市天王総合体育館
- 62 潟上市天王B&G海洋センター(体育館)
- 63 潟上市昭和体育館
- 64 潟上市飯田川体育館

- 65 潟上市昭和交流センター
- 66 潟上市天王剣道場
- 67 潟上市天王柔道場
- 68 潟上市天王相撲場
- 69 潟上市昭和武道館
- 70 潟上市飯田川ふれあいスポーツ会館
- ◎プール
- 71 潟上市天王B&G海洋センター(プール)
- 72 潟上市飯田川B&G海洋センター(プール)
- ◎艇庫
- 73 潟上市天王B&G海洋センター(艇庫)
- ◎野球場・陸上競技場・球技場
- 74 鞍掛沼公園多目的広場(秋田県フットボールセンター)
- 75 長沼球場
- 76 長沼球技場
- 77 元木山球場
- 78 元木山陸上競技場
- 79 飯田川グラウンド(野球場)
- 80 天王一向球場
- 81 天王湖岸球場
- 82 野村多目的運動広場
- ◎グラウンドゴルフ場
- 83 天王多目的健康広場(グランパスくらかけ)
- 84 昭和グラウンドゴルフ場
- 85 飯田川二荒山グラウンドゴルフ場
- ◎テニスコート
- 86 潟上市天王中央庭球場
- 87 長沼テニスコート
- 88 天王緑の健康広場テニスコート
- 89 元木山テニスコート
- ◎駅
- 90 JR天王駅
- 91 JR二田駅
- 92 JR上二田駅
- 93 JR出戸浜駅
- 94 JR大久保駅
- 95 JR羽後飯塚駅
- ◎郵便局
- 96 天王郵便局
- 97 大久保郵便局
- 98 飯田川郵便局
- 99 下虻川郵便局
- ◎警察署
- 100 五城目警察署天王交番
- 五城目警察署上出戸交番
- 五城目警察署昭和交番
- 五城目警察署飯田川駐在所
- ◎消防署
- 男鹿地区消防署天王分署
- 男鹿地区消防署天王南分署
- 湖東地区消防署昭和分署
- ◎官・公署
- 秋田地域振興局福祉環境部(秋田中央保健所・中央福祉事務所)
- 秋田県自治研修所
- 秋田県総合教育センター
- 秋田県果樹試験場天王分場
- 秋田県花き種苗センター

参考資料

概要

人口

産業

生活環境

社会福祉

財政

行政

施設MAP